

教育保育学部

教育保育学部教育理念と教育課程の特徴

1. 教育保育学部教育理念

教育保育学部教育理念は<参加><共同><創造>です。内容は以下の通りです。学生のみなさんはしっかりと自らの課題として受けとめて学んでほしいと思います。

【教育保育学部の基本理念】

教育・保育学に関する体系的な教育・研究を通して、学生の社会参加と自己実現を支援し、もって人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる高度の専門性を具えた有為な職業人を養成するとともに、社会の要請に応えつつ教育・保育の社会的な発展に貢献する。

【3つの目標と9つの課題】

(1) 男女共同参画社会の実現という現代社会の課題に応え、学生の自己実現を支援し、能動的で自己開発的な学修主体として社会参加の意識の高い能力をもった学生を形成する。<参加>

- a、授業への積極的な参加を促し、自主的・主体的で、自己開発的な学修主体として学生を形成する。
- b、学部の責任ある構成員として学部づくりへの積極的な参加を促し、その行動と経験を通して社会参加の意識と能力を醸成する。
- c、ボランティア活動、実習、インターンシップ、演習等の授業および授業外の社会参加・体験学修の豊かな機会を保障し、責任ある社会の構成員としての意識と能力を醸成する。

(2) 個人としての責任感と同時に共同の責任感をもって、問題解決と課題実現のために豊かな研究と活動を共同で展開しうる意識と能力をもった学生を形成する。<共同>

- a、サークル活動等学生の自主的諸活動を積極的に促進し、相互に協力して問題解決と課題実現のために活動する機会を豊かに実現する。
- b、ゼミなどの活動を通して、学生が個人としてまた相互に協力し、かつ学生と教員とが目標を共有して、特定のテーマについて研究し、様々な課題に則して活動する経験を豊かに保障する。
- c、社会参加の多面的な機会を通して、責任ある活動のために組織されている協力関係を体験的に学び、そのような協力関係を取り結ぶ責任ある社会の構成員としての意識や能力を醸成する。

(3) 子どもの発達保障や子どもの最善の利益を実現しうる社会の形成等の責任ある社会的活動に従事しうる想像力と創造力を豊かにもった学生を形成する。<創造>

- a、時代の要請に応え教育・保育学の体系として構造化された教育保育学部の教育課程を系統的に学ぶことを通して、学問的な想像力を豊かに涵養し、教育・保育学の創造的な学修主体としての学生の自己確立を支援する。
- b、学生にとって学修と生活の基盤であり環境である教育保育学部を「私の大学」としてのアイデンティティを持ちうるように、学生一人一人が責任ある構成員としての意識をもって学部を創造する活動を積極的に展開し体験する。
- c、社会参加の多面的な機会を通して、教育・保育や子育て支援等の仕事や活動において求められる課題を理解し解決するために必要な想像力と創造力を体験的に学び、専門職としての創造的な力量を豊かに形成する。

教育保育学部教育保育学科のディプロマポリシー

教育保育学科は、「人類の福祉と世界の子どもの最善の利益に貢献できる高度な専門性を具えた有為な人材を養成する」という教育保育学部の教育理念のもとで、学則に定める所定の単位を修得し、以下の力を身につけた学生に、学士（教育・保育学）の学位を授与する。

1. 高い学修意欲や永続的な自己開発意欲を踏まえて、自主的・主体的に学び活動する力を身につけている。
2. 豊かな人間性と人間理解、豊かなコミュニケーション能力・自己表現能力・共感能力、信頼される社会的モラル等を踏まえて、他者と協力・協同して学び合う力を身につけている。
3. 教育・保育に関する課題を発見・理解するために必要な、豊かな教養、専門的な知識・技術を身につけている。
4. 教育・保育に関する課題を分析・解決する力として、必要な情報を収集・選択・活用する思考力、判断力や、的確に他者へ伝える表現力を身につけている。

教育保育学部教育保育学科が目指す教師像・保育士像

【小学校教諭・特別支援学校教諭】

1. 教育に対する使命感や情熱、教師に求められる高い倫理観や規範意識を持ち、子どもの心身の発達・成長を第一に考え、適切な指導ができるように、自ら学び続けることができる教師。
2. 組織の一員として他の教職員と協力し、職務を遂行することができるとともに、家庭や地域社会と良好な関係を築くことができる教師。
3. 小学校学習指導要領および特別支援学校幼稚園教育要領、小学部・中学部学習指導要領に基づいて、授業を計画し、身につけた指導技術を生かして授業をすることができる。また、生徒指導およびキャリア教育の意味を理解し、複雑化・多様化する児童が抱える様々な課題に対し指導することができる教師。
4. 子どもとの信頼関係を築くとともに、子ども一人ひとりの発達の状況に応じて、自らの学習指導や学級経営の在り方を省察し改善を図ることができる教師。

【幼稚園教諭】

1. 教育に対する使命感や情熱、教師に求められる高い倫理観や規範意識を持ち、子どもの心身の発達・成長を第一に考え、適切な指導ができるように、自ら学び続けることができる教師。
2. 組織の一員として他の教職員と協力し、職務を遂行することができるとともに、家庭や地域社会と良好な関係を築くことができる教師。
3. 幼稚園教育要領に基づいて、指導計画を工夫し、環境構成を行い、身につけた保育技術を活かして指導することができる教師。
4. 子どもとの信頼関係を築くとともに、子ども一人ひとりの発達の状況や幼児教育に係る知見を元に、個と集団に応じた指導・援助、学級運営の在り方を省察し改善を図ることができる教師。

【保育士】

1. 保育・養護に対する使命感や情熱、保育士に求められる高い倫理観や規範意識を持ち、子どもの心身の発達・成長を第一に考え、適切な指導ができるように、自ら学び続けることができる保育士。
2. 組織の一員として他の保育士や職員と協力し、職務を遂行することができるとともに、家庭や地域社会と良好な関係を築くことができる保育士。
3. 児童福祉の法令や保育所保育指針等に基づいて、指導計画を工夫し、環境構成を行い、身につけた保育技術を活かして、子どもの最善の利益を保障しながら援助することができる保育士。
4. 子どもとの信頼関係を築くとともに、子ども一人ひとりの発達の状況や保育・養護に係る知見を元に、個と集団に応じた援助の在り方を省察し改善を図ることができる保育士。

教育保育学部国際教養こども学科ディプロマポリシー

国際教養こども学科は、「人類の福祉と世界の子どもの最善の利益に貢献できる高度な専門性を具えた有為な人材を養成する」という教育保育学部の教育理念のもとで、学則に定める所定の単位を修得し、以下の力を身につけた学生に、学士（保育学）の学位を授与する。

1. 高い学修意欲や永続的な自己開発意欲を踏まえて、自主的・主体的に学び活動する力を身につけている。

2. 社会や自らが直面する課題を見つけ、多角的な視点から分析し、実践にむすびつく思考力、判断力、表現力を身につけている。
3. 教育・保育に関する課題及び多文化共生に関する課題を理解するために必要な豊かな教養・専門的な知識技能を身につけている。
4. 社会や自らが直面する課題を見つけ、多角的な視点から分析し、実践にむすびつく思考力、判断力、表現力を身につけている。

教育保育学部国際教養こども学科が目指す教師像・保育士像

【幼稚園教諭・保育士】

1. 子どもを取り巻きさまざまな背景についての問題意識を持ち、子どもの心身の発達・成長を多角的な視点で考え、適切な指導ができるように、自ら学び続けることができる教師・保育士。
2. 多様性を受け入れる能力、グローバル社会における実践的な言語コミュニケーション能力、豊かな人間性と人間理解、仲間を信頼する力、信頼される社会的モラル等を踏まえて、組織の一員として協力し、職務を遂行することができるとともに、家庭や地域社会と良好な関係を築くことができる教師・保育士。
3. 幼稚園教育要領や保育所保育指針、海外の教育指針等に基づいて、指導計画を工夫し、環境構成を行い、身に付けた保育技術を活かして、子どもたちの多様な文化・歴史的背景に根ざしながら最善の利益を保障し援助することができる教師・保育士。
4. 子どもとの信頼関係を築くとともに、子ども一人ひとりの発達の状況や幼児教育・保育・養護に係る知見を元に、多様な文化・歴史・関係性を意識した援助の在り方を省察し改善を図ることができる教師・保育士。

教育保育学部教育保育学科のカリキュラムポリシー

教育保育学部教育保育学科の教育課程は、教育・保育の課題を乳幼児期から児童期の子どもの発達理解と発達環境の諸側面の課題をふまえ、総合的・構造的に、理論と実践を結びつけて探求できるように編成するとともに、保育士資格、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許、特別支援学校教諭一種免許の取得に必要な科目を希望するすべての学生が履修できるように編成する。

1. ゼミ・実習

教育保育学部教育保育学科は、1年から4年までゼミと実習を系統的に配置している。ゼミ（1年：基礎演習、2年：総合演習Ⅰ、3年：総合演習Ⅱ、4年：卒業研究）は、大学における学修及び教育保育学部における教育への参加学生の基盤であり、個別指導のチュートリアルシステムである。実習は、取得を希望する免許・資格に対応して、幼稚園、保育所、児童福祉施設、小学校、特別支援学校等で段階的に実施される。

2. 教育課程

学生は、教育保育学科の教育課程の系統的な学修を通して、教育・保育専門職として求められる高度な専門職としての力量の基礎を総合的に培うとともに、現代社会の有能な担い手として社会に貢献しうる人材として自らを開発することが可能となっている。教育保育学科では幅広い教養と高い専門性を養うために以下のようなカリキュラムを編成している。講義・演習・実技科目においては、アクティブ・ラーニングの手法を用いた双方向型の授業や、ICTを利活用した授業等を展開する。

1. 幅広い教養と豊かな人間性を涵養する。
「教養科目（桜花学）」と「基礎科目」からなる「共通教育科目」を設置し、幅広い教養と各領域の基礎知識を身につける。
2. 教育・保育に関する専門的な知識・技能を身につける。
「教育・保育の本質・目的に関する科目」「教育・保育の対象理解に関する科目」「教育・保育の内容・方法に関する科目」「特別支援教育に関する科目」「体験学習科目」「総合的な学修・研究科目」を設置し、教育・保育の分野に関する保育者・教師に必要な知識とスキルを理論・実践の両側面から身につける。

【学修成果の評価】

学修成果は、試験等を科しそれぞれの科目において身についた「主体的に学ぼうとする力」「協同的に学び合う力」「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を測定する。評価における客観的評価指標として、ルーブリック等を用いる。

教育保育学部国際教養こども学科カリキュラムポリシー

教育保育学部国際教養こども学科の教育課程は、教育・保育の課題を就学前の子どもの発達理解と発達環境の諸側面を踏まえ、総合的・構造的に、理論と実践を結びつけて探究できるよう編成するとともに、保育士資格、幼稚園教諭一種免許、Certificate III in Early Childhood Education and Care（オーストラリアのアシスタント保育士資格）の取得に必要な科目を希望するすべての学生が履修できるように編成する。

1. ゼミ・実習

教育保育学部国際教養こども学科は、1年から4年までゼミと実習を系統的に配置している。ゼミ（1年：基礎演習、2年：総合演習A・B、3年：総合演習C、4年：卒業研究）は、大学における学修及びの教育保育学部における教育への参加学生の基盤であり、個別指導のチュートリアルシステムである。実習は、取得を希望する免許・資格に対応して、幼稚園、保育所、施設、海外の保育施設等で段階的に実施される。

2. 教育課程

学生は、国際教養こども学科の教育課程の系統的な学修を通して、教育・保育専門職として求められる高度な専門職としての力量の基礎を総合的に培うとともに、現代社会の有能な担い手、且つ、社会に貢献しうる人材として自らを開発することが可能となっている。国際教養こども学科では幅広い教養と高い専門性を養うために以下のようなカリキュラムを編成している。講義・演習・実技科目においては、アクティブ・ラーニングの手法を用いた双方向型の授業や、ICTを利活用した授業等を展開する。

1. 幅広い教養と豊かな人間性を涵養する。

「教養科目（桜花学）」と「基礎科目」からなる「共通教育科目」を設置し、幅広い教養と各領域の基礎知識を身につける。

2. 教育・保育に関する専門的な知識・技能を身につけるために以下の「専門教育科目」を設置する。

- 1) こども教育科目
- 2) 国際教養科目
- 3) 実習科目
- 4) 演習科目

【学修成果の評価】

学修成果は、試験等を科しそれぞれの科目において身についた「主体的に学ぼうとする力」「多様性理解及び実践的なコミュニケーション能力を踏まえた協同的に学び合う力」「教育・保育及び多文化共生に関わる知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を測定する。評価における客観的評価指標として、ルーブリック等を用いる。

教育保育学部教育保育学科教育課程表(2026年度入学者)

区分	授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保・後(後期)・前期(後期)・前期(後期)・前期(後期)												
							小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教育保育学科 人間を知る 心を探求 生き方の探求	ライフコース論	OK11L0001	2	講義		必修2													
	ジェンダー論	OK11L0002	2	講義		必修2			△										
	自分と家族	OK11L0003	2	講義		必修2													
	芸術の世界	OK11L0101	2	講義		必修2													
	ことばの世界	OK11L0102	2	講義		必修2													
	心の探求	OK11L0103	2	講義		必修2													
	生き方の探求	OK11L0104	2	講義		必修2													
	生活と経済	OK12L0201	2	講義		必修2													
	地域社会	OK12L0202	2	講義		必修2													
	人間と歴史	OK12L0203	2	講義		必修2													
	異文化理解	OK12L0301	2	講義		必修2													
	日本の文化	OK12L0302	2	講義		必修2													
	国際関係論	OK12L0303	2	講義		必修2													
	グローバル社会と宗教	OK12L0304	2	講義		必修2													
	環境の科学	OK21L0401	2	講義		必修2													
食と生命の科学	OK21L0402	2	講義		必修2														
生き物の社会	OK21L0403	2	講義		必修2														
保健体育 スポーツ健康論	スポーツ健康論	OK12K1001	2	講義		必修1	○	○	○										
	スポーツⅠ	OK22K1001	1	実技		必修1	△	△	△										
	スポーツⅡ	OK22K1002	1	実技		必修1													
	統計学	OK22K1101	2	講義		必修2													
	社会調査法	OK22K1102	2	講義		必修2													
	情報社会論	OK22K1103	2	講義		必修2													
	コンピュータⅠ	OK11K1101	1	演習	1		○	○	○										
	コンピュータⅡ	OK12K1101	1	演習	1		○	○	○										
	NGO・NPO論	OK31K1201	2	講義		必修2													
	現代社会と企業	OK31K1202	2	講義		必修2													
	地域協力演習	OK31K1203	2	演習		必修2													
	インターンシップ(国内)A	OK21K1201	1	演習		必修2													
	インターンシップ(国内)B	OK21K1202	2	演習		必修2													
	インターンシップ(海外)A※	OK12K1201	1	演習		必修2				○									
	インターンシップ(海外)B※	OK12K1202	2	演習		必修2				○									
インターンシップ(海外)C※	OK12K1203	3	演習		必修2				○										
インターンシップ(海外)D※	OK12K1204	4	演習		必修2				○										
ボランティア(海外)	OK12K1205	2	実技		必修2				○										
海外英語資格実習	OK21K1203	2	実技		必修2				○										
グローバル化に対応したコミュニケーションスキル関係 総合英語Ⅰ	総合英語Ⅰ	OK11K1301	1	演習	1		○	○	○										
	総合英語Ⅱ	OK12K1301	1	演習	1		○	○	○										
	総合英語Ⅲ	OK21K1301	1	演習		1													
	総合英語Ⅳ	OK22K1301	1	演習		1													
	英語コミュニケーションⅠ	OK31K1301	1	演習		1													
	英語コミュニケーションⅡ	OK32K1301	1	演習		1													
	英語コミュニケーションⅢ	OK41K1301	1	演習		1													
	英語コミュニケーションⅣ	OK42K1301	1	演習		1													
	ポルトガル語と文化Ⅰ	OK11K1302	1	演習		1													
	ポルトガル語と文化Ⅱ	OK12K1302	1	演習		1													
	スペイン語と文化Ⅰ	OK11K1303	1	演習		1													
	スペイン語と文化Ⅱ	OK12K1303	1	演習		1													
	フランス語と文化Ⅰ	OK11K1304	1	演習		1													
	フランス語と文化Ⅱ	OK12K1304	1	演習		1													
	中国語と文化Ⅰ	OK11K1305	1	演習		1													
中国語と文化Ⅱ	OK12K1305	1	演習		1														
中国語と文化Ⅲ	OK21K1302	1	演習		1														
中国語と文化Ⅳ	OK22K1302	1	演習		1														
韓国語と文化Ⅰ	OK11K1306	1	演習		1														
韓国語と文化Ⅱ	OK12K1306	1	演習		1														
韓国語と文化Ⅲ	OK21K1303	1	演習		1														
韓国語と文化Ⅳ	OK22K1303	1	演習		1														
総合 日本国憲法	日本国憲法	OK22K1401	2	講義	2		○												
	海外研修A	OK21K1401	2	実習	2														
	海外研修B	OK21K1402	4	実習	4														
	基礎演習Ⅰ	OK11K1401	1	演習	1														
	基礎演習Ⅱ	OK12K1401	1	演習	1														
ユニークコース	①他学部履修科目 ②大学関連科目 ③愛知学長懇話会科目 ④資格認定	OK00K2001	6		6														

エクステンション科目については別に定める。
※インターンシップ(海外)として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

教育保育学部教育保育学科教育課程表(2026年度入学者)

区分	授業科目	科目ナンバー	単位	形態	専必	選択	小・特支・幼・保				1年		2年		3年		4年	
							特	支	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育・保育の本質・目的に関する科目	教育原理	0H12S0001	2	講義	2	○		○	○									
	保育原理	0H12S0002	2	講義	2			○	○									
	子ども家庭福祉	0H12S0003	2	講義	2				○									
	保育・教育・福祉の制度と理論Ⅰ	0H31S0001	1	演習	1										○			
	保育・教育・福祉の制度と理論Ⅱ	0H32S0001	1	演習	1											○		
	社会福祉	0H11S0001	2	講義	2				○	○								
	子ども家庭支援論	0H22S0001	2	講義	2				○	○								
	社会的養護Ⅰ	0H21S0001	2	講義	2				○	○								
	社会的養護Ⅱ	0H22S0002	1	演習	1										○			
	保育者論	0H11S0002	2	講義	2				○	○								
	教育職論	0H21S0002	2	講義	2				○	○								
	教育制度	0H41S0001	2	講義	2				○	○	△							○
	発達心理学	0H11S0101	2	講義	2		△		○	○								
	子ども家庭支援の心理学	0H32S0101	2	講義	2	2											○	
	子ども理解の理論と方法	0H21S0101	2	演習	2				○	○								
教育心理学	0H31S0101	2	講義	2				○	○	△					○			
特別支援基礎論	0H12S0101	1	講義	1				○	○	△								
保幼小連携基礎論	0H11S0102	1	講義	1			△	△	△									
保幼小連携総論	0H41S0101	1	講義	1			△	△	△									
教育・保育学特講Ⅰ	0H32S0102	1	講義	1												○		
教育・保育学特講Ⅱ	0H41S0102	1	講義	1													○	
教育課程論	0H22S0201	2	講義	2				○						○				
保育カリキュラム論	0H31S0201	2	講義	2				○	○							○		
保育内容総論	0H11S0201	2	演習	2					○									
保育内容指導法(健康)	0H32S0201	2	演習	2				○	○								○	
保育内容指導法(人間関係)	0H22S0202	2	演習	2				○	○					○				
保育内容指導法(環境)	0H12S0201	2	演習	2				○	○									
保育内容指導法(言葉)	0H12S0202	2	演習	2				○	○									
保育内容指導法(表現)	0H22S0203	2	演習	2				○	○									
国語科教育法	0H22S0204	2	講義	2				○	○									
社会科教育法	0H31S0202	2	講義	2				○	○									
算数科教育法	0H22S0205	2	講義	2				○	○									
理科教育法	0H31S0203	2	講義	2				○	○									
生活科教育法	0H22S0206	2	講義	2				○	○									
音楽科教育法	0H42S0201	2	講義	2				○	○									
図画工作科教育法	0H42S0202	2	講義	2				○	○									
家庭科教育法	0H42S0203	2	講義	2				○	○									
体育科教育法	0H31S0204	2	講義	2				○	○									
英語科教育法	0H42S0204	2	講義	2				○	○									
道徳教育の指導法	0H21S0201	2	講義	2				○	○									
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	0H41S0201	2	講義	2				○	○									
生徒・進路指導論	0H42S0205	2	講義	2				○	○									
教育の方法	0H21S0202	2	講義	2				○	○									
ICT活用の理論と実践	0H21S0203	1	講義	1				○	○									
幼児と健康	0H31S0205	1	演習	1				○	○									
幼児と人間関係	0H21S0204	1	演習	1				○	○									
幼児と環境	0H11S0202	1	演習	1				○	○									
幼児と言葉	0H11S0203	1	演習	1				○	○									
幼児と表現	0H21S0205	1	演習	1				○	○									
国語	0H21S0206	1	講義	1				○	○									
社会	0H22S0207	1	講義	1				○	○									
算数	0H21S0207	1	講義	1				○	○									
理科	0H22S0208	1	講義	1				○	○									
生活	0H21S0208	1	講義	1				○	○									
音楽	0H41S0202	1	演習	1				○	○									
図画工作	0H41S0203	1	演習	1				○	○									
家庭	0H41S0204	1	演習	1				○	○									
体育	0H22S0209	1	演習	1				○	○									
英語	0H41S0205	1	演習	1				○	○									
幼児音楽ⅠA	0H11S0204	1	演習	1				△	△	○								
幼児音楽ⅠB	0H12S0203	1	演習	1				△	△	○								
幼児音楽Ⅱ	0H21S0209	1	演習	1				△	△				○					
幼児音楽Ⅲ	0H31S0206	1	演習	1				△	△					○				
ピアノ演習ⅠA	0H11S0205	1	演習	1						○								
ピアノ演習ⅠB	0H12S0204	1	演習	1						○								
ピアノ演習Ⅱ	0H22S0210	1	演習	1									○					

区分	授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の免許・資格を取得する場合				1年		2年		3年		4年		
							小	特支	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
育 科 目	表現の探求(造形)	OH31S0207	1	演習		1													
	表現の探求(音楽)	OH41S0206	1	演習		1													
	幼児造形Ⅰ	OH11S0206	1	演習		1			△	△	○							○	
	幼児造形Ⅱ	OH12S0205	1	演習		1			△	△		○							
	幼児体育Ⅰ	OH11S0207	1	演習		1			△	△	○								
	幼児体育Ⅱ	OH41S0207	1	演習		1			△	△									○
	ネイチャーワーク	OH31S0208	1	演習		1													○
	児童文化	OH21S0210	1	演習		1			△	△			○						
	子どもの保健	OH31S0209	2	講義		2			○										
	子どもの健康と安全	OH32S0202	1	演習		1			○										
	子どもの食と栄養Ⅰ	OH31S0210	2	演習		2			○										
	子どもの食と栄養Ⅱ	OH32S0203	2	演習		2			△										
	障害児保育	OH31S0211	2	講義		2			○										
	乳児保育Ⅰ	OH22S0211	2	講義		2			○				○						
	乳児保育Ⅱ	OH31S0212	1	演習		1			○										
	保育環境マネジメント	OH41S0208	1	演習		1													
	子ども学演習	OH31S0213	1	演習		1													
	教育相談A	OH42S0206	1	講義		1		○		○									
	教育相談B	OH42S0207	1	講義		1		○											
	子育て支援	OH41S0209	1	演習		1				○									
	親と子どもの発達支援	OH32S0204	1	演習		1													
	チーム保育論	OH42S0208	1	演習		1													
	医療保育Ⅰ	OH32S0205	1	講義		1													
	医療保育Ⅱ	OH41S0210	1	演習		1													
	インクルーシブ保育論	OH32S0206	1	講義		1													
	多文化共生保育・教育論	OH32S0207	1	講義		1													
	特別支援教育に関する科目	特別支援教育論	OH21S0301	2	講義		2			○									
		知的障害児の心理・生理・病理	OH31S0301	2	講義		2			○									
		肢体不自由児の心理・生理・病理	OH31S0302	2	講義		2			○									
		病弱児の心理・生理・病理	OH31S0303	2	講義		2			○									
		知的障害教育論Ⅰ	OH32S0301	2	講義		2			○									
		知的障害教育論Ⅱ	OH41S0301	2	講義		2			○									
		肢体不自由教育論Ⅰ	OH32S0302	2	講義		2			○									
肢体不自由教育論Ⅱ		OH42S0301	2	講義		2			○										
病弱教育論		OH32S0303	2	講義		2			○										
視覚障害児の心理・生理・病理		OH31S0304	1	講義		1			○										
聴覚障害児の心理・生理・病理		OH42S0302	1	講義		1			○										
発達障害の理解		OH41S0302	1	講義		1			○										
視覚障害教育論		OH31S0305	1	講義		1			○										
聴覚障害教育論		OH42S0303	1	講義		1			○										
重複障害等教育論		OH41S0303	1	講義		1			○										
体験学習科目	教育実習Ⅰ	OH12S1001	1	実習		1			○			○							
	教育実習Ⅱ	OH32S1001	3	実習		3			○										
	教育実習Ⅲ	OH32S1002	3	実習		3	○												
	教育実習Ⅳ	OH41S1001	2	実習		2		○											
	教育実習指導Ⅰ	OH11S1001	1	演習		1			○		○								
	教育実習指導Ⅱ	OH31S1001	1	演習		1			○										
	教育実習指導Ⅲ	OH31S1002	1	演習		1	○												
	教育実習指導Ⅳ	OH41S1002	1	演習		1		○											
	教職実践演習(幼・小)	OH42S1001	2	演習		2			○										
	保育実習Ⅰ(保育所)	OH31S1003	2	実習		2			○										
	保育実習Ⅰ(施設)	OH22S1001	2	実習		2			○										
	保育実習Ⅱ	OH41S1003	2	実習		2			△										
	保育実習Ⅲ	OH41S1004	2	実習		2			△										
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	OH31S1004	1	演習		1			○										
	保育実習指導Ⅰ(施設)	OH21S1001	1	演習		1			○										
	保育実習指導Ⅱ	OH41S1005	1	演習		1			△										
	保育実習指導Ⅲ	OH41S1006	1	演習		1			△										
	保育実践演習	OH42S1002	2	演習		2													
	学校インターンシップ指導	OH21S1002	1	演習		1	○												
	学校インターンシップ	OH21S1003	1	実習		1	○												
	海外幼児教育インターンシップ	OH12S1002	2	実習		2							○						
総合的な学習・研究科目	総合演習ⅠA	OH21S2001	1	演習		1						○							
	総合演習ⅠB	OH22S2001	1	演習		1							○						
	総合演習ⅡA	OH31S2001	1	演習		1								○					
	総合演習ⅡB	OH32S2001	1	演習		1									○				
	卒業研究演習Ⅰ	OH41S2001	1	演習		1										○			
	卒業研究演習Ⅱ	OH42S2001	1	演習		1											○		
	卒業研究	OH42S2002	2	演習		2												○	

教育保育学部 国際教養こども学科 教育課程表(2026年度入学者)

区分	授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼・保の他別学履修を取得する場合				1年		2年		3年		4年		
							小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教 養 科 目 (桜 花 学)	ライフコース論	OK11L0001	2	講義		必修2													
	ジェンダー論	OK11L0002	2	講義		必修2													
	自分と家族	OK11L0003	2	講義		必修2													
	芸術の世界	OK11L0101	2	講義		選択必修2													
	ことばの世界	OK11L0102	2	講義		選択必修2													
	心の探求	OK11L0103	2	講義		選択必修2													
	生き方の探求	OK11L0104	2	講義		選択必修2													
	生活と経済	OK12L0201	2	講義		選択必修2													
	地域社会	OK12L0202	2	講義		選択必修2													
	人間と歴史	OK12L0203	2	講義		選択必修2													
	異文化理解	OK12L0301	2	講義		選択必修2													
	日本の文化	OK12L0302	2	講義		選択必修2													
	国際関係論	OK12L0303	2	講義		選択必修2													
	グローバル社会と宗教	OK12L0304	2	講義		選択必修2													
	環境の科学	OK21L0401	2	講義		必修2													
食と生命の科学	OK21L0402	2	講義		必修2														
生き物の社会	OK21L0403	2	講義		必修2														
共 通 教 育 科 目	スポーツ健康論	OK12K1001	2	講義		選択必修1	○	○	○										
	スポーツⅠ	OK22K1001	1	実技		選択必修1	△	△	△										
	スポーツⅡ	OK22K1002	1	実技		選択必修1													
	統計学	OK41K1101	2	講義		選択必修2												○	
	社会調査法	OK42K1101	2	講義		選択必修2												○	
	情報社会論	OK42K1102	2	講義		選択必修2												○	
	コンピュータⅠ	OK11K1101	1	演習	1		○	○	○										
	コンピュータⅡ	OK12K1101	1	演習	1		○	○	○										
	NGO・NPO論	OK41K1401	2	講義														○	
	現代社会と企業	OK41K1402	2	講義														○	
	地域協力演習	OK41K1403	2	演習														○	
	インターンシップ(国内)A	OK21K1201	1	演習														○	
	インターンシップ(国内)B	OK21K1202	2	演習														○	
	インターンシップ(海外)A	OK12K1201	1	演習														○	
	インターンシップ(海外)B	OK12K1202	2	演習														○	
	インターンシップ(海外)C	OK12K1203	3	演習														○	
	インターンシップ(海外)D	OK12K1204	4	演習														○	
	ボランティア(海外)	OK12K1205	2	実習														○	
	海外英語資格実習	OK21K1203	2	実習														○	
	基 礎 科 目	総合英語Ⅰ	OK11K1301	1	演習	1		○	○	○									
		総合英語Ⅱ	OK12K1301	1	演習	1		○	○	○									
		総合英語Ⅲ	OK21K1301	1	演習	1													○
		総合英語Ⅳ	OK22K1301	1	演習	1													○
		英語コミュニケーションⅠ	OK41K1301	1	演習		1												○
		英語コミュニケーションⅡ	OK42K1301	1	演習		1												○
英語コミュニケーションⅢ		OK41K1303	1	演習		1												○	
英語コミュニケーションⅣ		OK42K1304	1	演習		1												○	
ポルトガル語と文化Ⅰ		OK11K1302	1	演習														○	
ポルトガル語と文化Ⅱ		OK12K1302	1	演習														○	
スペイン語と文化Ⅰ		OK11K1303	1	演習														○	
スペイン語と文化Ⅱ		OK12K1303	1	演習														○	
フランス語と文化Ⅰ		OK11K1304	1	演習														○	
フランス語と文化Ⅱ		OK12K1304	1	演習														○	
中国語と文化Ⅰ		OK11K1305	1	演習														○	
中国語と文化Ⅱ	OK12K1305	1	演習														○		
中国語と文化Ⅲ	OK21K1302	1	演習														○		
中国語と文化Ⅳ	OK22K1302	1	演習														○		
韓国語と文化Ⅰ	OK11K1306	1	演習														○		
韓国語と文化Ⅱ	OK12K1306	1	演習														○		
韓国語と文化Ⅲ	OK21K1303	1	演習														○		
韓国語と文化Ⅳ	OK22K1303	1	演習														○		
日本国憲法	OK22K1401	2	講義		2	○	○												
海外研修A	OK21K1401	2	実習		2												○		
海外研修B	OK21K1402	4	実習		4												○		
基礎演習Ⅰ	OK11K1401	1	演習	1													○		
基礎演習Ⅱ	OK12K1401	1	演習	1													○		
総合基 礎演習	①他学部履修科目 ②愛知学長懇話会科目等		6			6													

※ インターンシップ(海外)として取得できる単位は卒業までに4単位を上限とする。

教育保育学部 国際教養こども学科 教育課程表(2026年度入学者)

区分	授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒心	選択	他・別の免許・資格等 取得する場合		1年		2年		3年		4年	
							協	併	前	後	前	後	前	後	前	後
こども教育科目	教育心理学	0K118001	2	講義	2			○	○	○						
	教育心理学	0K128002	2	講義	2		○	○	○							
	子ども家庭福祉論	0K130003	2	講義	2			○	○							
	子ども家庭福祉論	0K118004	2	講義	2			○	○							
	子ども家庭支援論	0K228005	2	講義	2				○	○						
	社会的養護Ⅰ	0K218006	2	講義	2	2			○	○						
	社会的養護Ⅱ	0K228007	1	演習	1	1			○	○						
	教育心理学	0K128008	2	講義	2	2		○	○	○						
	教育心理学	0K418009	2	講義	2		○	○	△							
	発達心理学	0K118010	2	講義	2		○	○	○							
	子ども家庭支援の心理学	0K228011	2	講義	2			○	○		○					
	子ども理解の理論と方法	0K218012	2	演習	2			○	○							
	教育心理学	0K428013	2	講義	2			○	△							○
	特別支援基礎論	0K218014	1	講義	1		1	○	△							
	教育カリキュラム論	0K428015	2	講義	2	2		○	○							○
	教育内容総論	0K118016	2	演習	2			○	○							
	教育内容指導法(健康)	0K228017	2	演習	2				○	○						
	教育内容指導法(人間関係)	0K228018	2	演習	2				○	○						
	教育内容指導法(環境)	0K128019	2	演習	2	2		○	○		○					
	教育内容指導法(言葉)	0K128020	2	演習	2			○	○		○					
	教育内容指導法(表現)	0K228021	2	演習	2	2		○	○		○					
	教育の方法	0K218022	2	講義	2	2			○	○						
	幼児と健康	0K218023	1	演習	1		1	○	○							
	幼児と人間関係	0K218024	1	演習	1		1	○	○							
	幼児と環境	0K118025	1	演習	1		1	○	○							
	幼児と言葉	0K118026	1	演習	1		1	○	○							
	幼児と表現	0K218027	1	演習	1		1	○	○							
	幼児音楽A	0K118028	1	演習	1		1	△	△		○					
	幼児音楽B	0K128029	1	演習	1		1	△	△		○					
	幼児音楽C	0K218030	1	演習	1		1	○	○							
	幼児音楽D	0K228031	1	演習	1		1				○					
	幼児造形A	0K118032	1	演習	1		1	△	△		○					
	幼児造形B	0K128033	1	演習	1		1	△	△		○					
	幼児造形C	0K118034	1	演習	1		1	△	△		○					
	幼児造形D	0K128035	1	演習	1		1	△	△		○					
	児童文化	0K411911	2	演習	2		2	△	△							
	子どもの保健	0K218036	2	講義	2						○					
	子どもの健康と安全	0K228037	1	演習	1		1	○	○							
	子どもの食と栄養	0K218038	2	演習	2		2	○	○							
	障害児保育	0K228039	2	演習	2		2	○	○							
	乳児保育Ⅰ	0K228040	2	講義	2		2	○	○							
	乳児保育Ⅱ	0K418041	1	演習	1		1	○	○							○
	教育相談	0K428042	1	講義	1		1	○	○							○
	子育て支援	0K418043	1	演習	1		1	○	○							○
	海外の保育	0K428044	2	講義	2	2			○	○						
多文化共生研究	0K118045	2	講義	2	2		△	△		○						
地域研究・オーストラリア	0K228046	2	講義	2	2					○						
地域研究・日本	0K118047	2	講義	2						○						
English Skills for Study Abroad I	0K128048	2	講義	2						○						
English Skills for Study Abroad II	0K218049	2	講義	2						○						
Comparative Early Childhood Education	0K418050	2	講義	2							○					
Challenges in Multicultural Societies	0K428051	2	講義	2							○				○	
Communication Skills I	0K118052	1	演習	1							○					
Communication Skills II	0K118053	1	演習	1							○					
Teaching English for Children	0K428054	2	講義	2	2						○					
インタラクティブコミュニケーション	0K428055	2	講義	2	2						○					
Study Abroad Preparation	0K228056	1	演習	1		1					○					
Basic Communication in English I	0K118057	1	演習	1						○						
Basic Communication in English II	0K128058	1	演習	1						○						
Intermediate Communication in English I	0K218059	1	演習	1						○						
Intermediate Communication in English II	0K228060	1	演習	1						○						
海外教育学研究	0K318061	5	実習	5								○	○			
海外保育実習	0K318062	10	実習	10									○	○		
国際教養総論	0K418063	2	演習	2										○		
教育実習入門	0K128064	1	実習	1		1									○	
教育実習A	0K228065	2	実習	2	2										○	
教育実習B	0K418066	2	実習	2		2									○	
教育実習指導Ⅰ	0K228067	1	講義	1		1									○	
教育実習指導Ⅱ	0K418068	1	講義	1		1									○	
教育実習指導Ⅲ	0K418069	1	講義	1		1									○	
教育実習指導Ⅳ	0K428070	2	演習	2		2									○	
教育実践演習(幼)	0K428071	2	演習	2		2									○	
教育実践演習	0K4182109	2	演習	2		2									○	
保育実習Ⅰ(保育所)	0K328102	2	実習	2		2									○	
保育実習Ⅰ(施設)	0K328104	2	実習	2		2									○	
保育実習Ⅱ	0K4182106	2	実習	2		2									○	
保育実習Ⅲ	0K4182108	2	実習	2		2									○	
保育実習指導Ⅰ(保育所)	0K328101	1	演習	1		1									○	
保育実習指導Ⅰ(施設)	0K328103	1	演習	1		1									○	
保育実習指導Ⅱ	0K4182105	1	演習	1		1									○	
保育実習指導Ⅲ	0K4182107	1	演習	1		1									○	
海外保育フィールド・スタディ	0K1182201	2	実習	2	2										○	
海外幼児教育インターンシップ	0K1282202	2	実習	2	2										○	
演習科目	総合演習A	0K2183001	1	演習	1											
	総合演習B	0K2283002	1	演習	1					○	○					
	総合演習C	0K3183001	1	演習	1						○	○				
	卒業研究演習Ⅰ	0K4183101	1	演習	1											○
卒業研究演習Ⅱ	0K4283102	1	演習	1											○	
卒業研究	0K4283103	2	演習	2											○	

ディプロマポリシー (DP) に基づく学修指標とルーブリック、カリキュラムマップ

ディプロマポリシー (DP) に基づく学修指標とルーブリック

〇教育保育学科

教育保育学科DPと学修成果指標	
教育保育学科DP	学修成果の指標
DP1 高い学修意欲や永続的な自己開発意欲を踏まえて、自主的・主体的に学び活動する力を身につけている。	主体的に学ぼうとする力
DP2 豊かな人間性と人間理解、豊かなコミュニケーション能力・自己表現能力・共感能力、信頼される社会的モラル等を踏まえて、他者と協力・協同して学び合う力を身につけている。	協同的に学び合う力
DP3 教育・保育に関する課題を発見・理解するために必要な、豊かな教養、専門的な知識・技術を身につけている。	知識・技能
DP4 教育・保育に関する課題を分析・解決する力として、必要な情報を収集・選択・活用する思考力、判断力や、的確に他者に伝える表現力を身につけている。	思考力・判断力・表現力

専門教育科目共通

教育保育学科の専門教育科目ルーブリック						
DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとするに消極的である。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うに消極的である。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	教育・保育の専門職として求められる高度な知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の高度な知識や技能を習得している。	教育・保育の高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育の知識や技能を習得している。	教育・保育に関し、一定の知識や技能の習得している。	教育・保育に関する一定の知識や技能を習得できていない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の専門職として求められる高度な知識や技能に基づき、物事の中から問題を見出し、解決につなげていく思考力を身につけて、精査した情報に基づいた考えを形成し、意味や価値を創造していく表現力を身につけている。	自ら現実の教育・保育に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら現実の教育・保育に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

区分共通

教育・保育の本質・目的に関する科目ルーブリック						
DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようすることに消極的である。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	乳幼児期および児童期の教育の特性や、教育と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の本質や目的に関する高度な知識や技能を習得している。	教育・保育の本質や目的に関する高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を習得している。	教育・保育の本質や目的に関する一定の知識や技能を習得している。	教育・保育の本質や目的に関する一定の知識や技能を習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の専門職として求められる教育・保育の本質や目的に関する知識や技能を基に、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の本質や目的に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら現実の教育・保育の本質や目的に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の本質や目的に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の本質や目的に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の本質や目的に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

教育・保育の対象理解に関する科目ルーブリック

DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	乳幼児及び児童の発達過程や学習過程、また個別の支援を必要とする子どもなど、教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けようとしている。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようすることに消極的である。	教育・保育の対象理解に関して、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をするなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	乳幼児及び児童の発達過程や学習過程、また個別の支援を必要とする子どもなど、教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことを身につけている。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育の対象理解に関して、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学んでいるなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	乳幼児及び児童の発達過程や学習過程、また個別の支援を必要とする子どもなど、教育・保育の対象理解に関する知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の対象理解に関する高度な知識や技能を習得し、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の対象理解に関する高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育の対象理解に関する知識や技能を習得している。	教育・保育の対象理解に関する一定の知識や技能を習得している。	教育・保育の対象理解に関する一定の知識や技能を習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の対象理解に関する知識や技能を基に、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の対象となる子どもに関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら現実の教育・保育の対象となる子どもに関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の対象となる子どもに関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の対象となる子どもに関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の対象となる子どもに関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

教育・保育の内容・方法に関する科目ルーブリック

DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けようとしている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようすることに消極的である。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をするなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことを身につけている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、互いに力を合わせて学んでいるなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の実践内容や方法に関する高度な知識や技能を習得し、科目間の関連性を理解している。	教育・保育の実践内容や方法に関する高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育の実践内容や方法に関する知識や技能を習得している。	教育・保育の実践内容や方法に関し、一定の知識や技能を習得している。	教育・保育の実践内容や方法に関し、一定の知識や技能を習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法に関する知識や技能を基に、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の内容や方法に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら現実の教育・保育の内容や方法に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の内容や方法に関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の内容や方法に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、教育・保育の内容や方法に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

特別支援教育に関する科目ルーブリック						
DP1に基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童に必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとするに消極的である。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤をするなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	特別支援教育に関する高度な知識や技能を習得し、科目間の関連性を理解している。	特別支援教育に関する高度な知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する特別支援教育に関する知識や技能を習得している。	特別支援教育に関する一定の知識や技能を習得している。	特別支援教育に関する一定の知識や技能を習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の専門職として求められる特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する知識や技能を基に、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	自ら特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する問題を発見、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する問題を発見、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する問題を発見、提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	与えられる知識や技能を自分なりに検討し、特別の支援を必要とする乳幼児・児童に関する現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

体験学習科目ルーブリック						
DP1に基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする態度を有している。力を身につけている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとするに消極的である。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況把握し、学修の進め方について試行錯誤をするなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	教育・保育の実習等体験学習を通して、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、問題発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	教育・保育の実習等体験学習を通して、問題発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	与えられた事象に対する教育・保育に関わる実践について、実習等を通して、知識や技能を習得している。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修し、一定の知識や技能の習得している。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修し、一定の知識や技能の習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育の実習等体験学習を通して、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、問題発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	教育・保育の実習等体験学習を通して、問題発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、問題発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、教育・保育の現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、教育・保育の現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

総合的な学修・研究科目ルーブリック

DPに基づく学修指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けようとしている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとすることに消極的である。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識・技能	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究する知識や技能を備え、科目間の関連性を理解している。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、知識や技能を習得し、科目間の関連性を理解している。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、知識や技能を習得している。	与えられた事象に対する教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、知識や技能を習得している。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、一定の知識や技能を習得している。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して総合的に学修・研究し、一定の知識や技能を習得していない。
思考力・判断力・表現力	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、自らの考えを深め、課題を解決し、その結果を他者に正確に伝える力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案し、他者に適切な方法で伝えることができる。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、教育・保育の現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけている。	教育・保育に関する諸課題を個別テーマに即して、教育・保育の現代的課題に対する解決策を立案する力を身につけていない。

○国際教養こども学科 区分共通

○国際教養こども学科 区分共通

こども教育科目のルーブリック							
学修指標 (DP)	学修目標の説明	AA	A	B	C	F	
主体的に学ぶとする力	幼児教育・保育に関する基礎理論や知識を理解し、自ら課題を見つけ主体的に学び続ける力を養う。講義や演習を通じて、子どもの発達や保育のあり方を考察し、学びを整理・発信できるようにする。また、学修内容を振り返り、次の学びに活かす姿勢を身につける。	幼児教育・保育に関する理論や知識を深く理解し、授業外でも関連資料を自主的に調べ、学びを整理・発信できる。学修内容を振り返り、次の学びに活かす姿勢が明確である。	授業内容を理解し、必要に応じて追加資料を調べるとともに主体的な学びを行う。学修内容を整理し、改善点を見つける姿勢がある。	授業や演習に取り組み、基本的な理解を示す。主体的な学びは一部見られるが、継続性や深まりに課題がある。	授業や演習に取り組みが、指示された範囲を超える学びや工夫はほとんどない。自己開発への意識が弱い。	学修意欲や主体性が低く、指示された学習以外の取り組みが見られない。理解も不十分。	
多様性理解及び実践的なコミュニケーション能力を踏まえた協同的に学び合う力	幼児教育・保育に関する学びを通じて、多様性を尊重し、他者と協力・協同する姿勢を養う。講義や演習で仲間と意見を交換し、信頼関係を築きながら課題に取り組むことで、豊かな人間関係と社会的モラルを身につける。	多様性を深く理解し、仲間と積極的に協力・協同して課題に取り組む。意見交換で相互理解を促進し、信頼関係を築くリーダーシップを発揮。社会的モラルを常に意識し、学びを共有できる。	多様性を尊重し、仲間と協力して課題に取り組む。意見交換に積極的で、信頼関係を築く姿勢がある。社会的モラルを理解し、行動に反映している。	仲間と協力して課題に取り組むが、意見交換や多様性への配慮は限定的。信頼関係は保たれているが、主体的な働きかけは少ない。	協力はするが、受動的で意見交換がほとんどない。多様性やモラルへの理解が不十分で、信頼関係の構築に課題がある。	協力が協同の姿勢が見られず、仲間との関係構築ができていない。多様性や社会的モラルへの理解が欠けている。	
教育・保育及び多文化共生に関わる知識・技能	幼児教育・保育に関する課題や多文化共生の視点を理解するとともに、基礎的な専門知識と豊かな教養を身につける。これらで考察できる。授業外でも講義や演習を通じて、子どもの発達や保育の理論を深く学び、社会や文化の多様性に配慮した保育のあり方を考察できる力を養う。	幼児教育・保育に関する理論や知識を深く理解し、多文化共生の視点を積極的に取り入れる。授業外でも自主的に調べ、幅広い教養を学びに活かしている。	幼児教育・保育に関する専門知識を理解し、多文化共生への配慮を示す。必要に応じて追加資料を調べ、学びを広げる姿勢がある。	授業や演習に取り組み、基本的な専門知識を理解している。多文化共生への理解は限定的で、主体的な探究は一部にとどまる。	専門知識の理解が不十分で、教養や多文化共生への視点がほとんど見られない。学びが指示された範囲にとどまる。	幼児教育・保育に関する知識理解が欠け、課題への取り組みが不十分である。多文化共生や教養への関心が見られない。	
思考力・判断力・表現力	幼児教育・保育に関する課題を多角的な視点から分析し、実践に結びつける思考力・判断力・表現力を養う。講義や演習を通じて、子どもの発達や保育の課題を論理的に考察し、自分の考えを適切にまとめ、他者にわかりやすく伝える力を身につける。	幼児教育・保育に関する課題を自ら発見し、多角的な視点で深く分析できる。論理的な思考力と判断力を発揮し、実践に結びつける提案を行う。自分の考えを整理し、明確かつ説得力のある表現で発信できる。	課題を見つけ、複数の視点から分析できる。思考力・判断力を活かして適切な解決策を見つけ、表現もわかりやすい。	課題を把握し、基本的な分析ができる。考えをまとめて表現する力はあるが、視点や深まりに課題がある。	課題の理解はあるが、分析が浅く、視点が限定的である。表現力や判断力に不足がある。実践的な提案には至らない。	課題を見つけることができず、分析や表現が不十分。思考力・判断力がほとんど発現されていない。	

国際教養科目のルーブリック							
学修指標 (DP)	学修目標の説明	AA	A	B	C	F	
主体的に学ぶとする力	国際的な文化や社会に関する知識を主体的に学び、語学や異文化理解を深めることで、継続的な自己成長を目指す。講義や演習を通じて、自ら課題を見つけ、学びを広げる姿勢を養う。	国際的な文化や社会に関する知識を深く理解し、授業外でも自主的に調べ学びを広げる。語学や異文化理解を積極的に実践している。	授業内容を理解し、必要に応じて追加資料を調べるとともに主体的な学びを行う。自己開発への意識があり、継続的な取り組みが見られる。	授業や課題に取り組み、基本的な理解を示す。主体的な学びは一部見られるが、継続性や深まりに課題がある。	指示された範囲の学びにとどまり、追加学習や自己開発への意識が弱い。	学修意欲や主体性が低く、指示された学習以外の取り組みが見られない。	
多様性理解及び実践的なコミュニケーション能力を踏まえた協同的に学び合う力	異文化や多様な価値観を尊重し、仲間と協力・協同して学び合う力を養う。グループ活動やディスカッションを通じて、信頼関係を築き、国際社会で求められるコミュニケーション能力と社会的モラルを身につける。	多様な文化や価値観を深く理解し、グループ活動で異文化に協力・協同する。意見交換で相互理解を促進し、信頼関係を築くリーダーシップを発揮している。	多様性を尊重し、仲間と協力して課題に取り組む。意見交換に積極的で、社会的モラルを理解し行動に反映している。	協力で課題に取り組むが、意見交換や多様性への配慮は限定的。信頼関係は保たれているが、主体的な働きかけは少ない。	協力はするが受動的で、意見交換がほとんどない。多様性やモラルへの理解が不十分である。	協力が協同の姿勢が見られず、仲間との関係構築ができていない。	
教育・保育及び多文化共生に関わる知識・技能	国際的な文化・社会に関する幅広い教養と語学力をも身につけ、多文化共生の視点を積極的に理解する力を養う。講義や演習を通じて、国際社会における多様な背景や価値観を踏まえた考察ができるようになる。	国際社会や文化に関する幅広い教養と語学力をも身につけ、多文化共生の視点を積極的に取り入れ考察できる。授業外でも自主的に学びを深めている。	国際的な文化・社会に関する専門知識を理解し、必要に応じて追加資料を調べるとともに主体的な学びを行う。	国際的な文化・社会に関する専門知識を理解し、多文化共生への配慮を示す。必要に応じて追加資料を調べるとともに主体的な学びを行う。	国際的な専門知識の理解が不十分で、教養や多文化共生への視点がほとんど見られない。	国際的な知識理解が欠け、課題への取り組みが不十分である。	
思考力・判断力・表現力	国際社会や異文化に関する課題を発見し、多角的な視点で分析する力を養う。論理的な思考力と判断力を活かし、自分の考えを整理し、適切な言語でわかりやすく表現できる能力を身につける。	国際社会や異文化に関する課題を自ら発見し、多角的な視点で深く分析できる。論理的な思考力と判断力を発揮し、明確かつ説得力のある表現で発信できる。	課題を見つけ、複数の視点から分析できる。考えを整理し、適切な言語でわかりやすく表現できる。	課題を把握し、基本的な分析ができる。考えをまとめて表現する力はあるが、視点や深まりに課題がある。	課題の理解はあるが、分析が浅く、表現力や判断力に不足がある。	課題を見つけることができず、分析や表現が不十分である。	

実習科目のルーブリック		AA	A	B	C	F
主体的に学ぼうとする力	実習を通して、自ら課題を設定し、主体的に学び続ける力を養う。子どもや現場の状況を観察し、学びを振り返りながら自己成長に向けた取り組みを継続する姿勢を身につける。	実習を通じて、状況を深く分析し、課題を自ら設定することができる。主体的に学び続ける行動を観察し、深い振り返りを進め、改善策を取り入れることと成長を確認できる。	実習の状況を的確に捉え、適切な課題を設定。主体的に学びを進め、観察や振り返りを行うが、改善や成長は限定的である。	実習において基本的な課題設定ができ、学びに取り組む姿勢がある。観察や振り返りを行うが、改善や成長は限定的である。	実習において課題設定や学びへの取り組みはあるが、変動的な場面が多い。観察や振り返りが表面的で、自己成長へのつながりが弱い。	実習において、課題設定や主体的な学びがほとんど見られず、観察や振り返りも不十分。自己成長への取り組みが確認できない。
多様な理解及び実践的なコミュニケーション能力を踏まえた協同的に学び合う力	実習で多様な価値観を尊重し、現場の保育者や仲間と協力して学び合う力を養う。信頼関係を築き、社会的モラルを理解し、責任ある行動を取る姿勢を身につける。	多様な価値観を深く理解し、積極的に尊重する姿勢を示す。保育者や仲間と協同し、学び合いに積極的に関与し、責任ある行動を一貫して取る。	多様な価値観を理解し、尊重する姿勢がある。保育者や仲間と協力し、学び合いに積極的に参加する。信頼関係を築き、社会的モラルを理解し、責任ある行動を取ることができる。	多様な価値観ある程度理解し、尊重する。協力や学び合いに取り組むが、主体的な積極性は限定的である。信頼関係や責任ある行動は基本的にできていない。	多様な価値観への理解や尊重が表面的である。協力や学び合いは指示がないと難しく、信頼関係や責任ある行動に不安定が見られる。	多様な価値観を尊重する姿勢がほとんど見られない。協力や学び合いに消極的で、信頼関係や責任ある行動が欠如している。
教育・保育及び多文化共生に関する知識・技能	実習を通じて、幼児教育・保育に関する専門知識を実践的に結びつける力を養う。子どもの発達や保育の理論を現場で確認し、多文化共生の視点と踏まえた保育のあり方を理解する。	幼児教育・保育に関する専門知識を深く理解し、現場での実践に活用できる。子どもの発達や保育理論を確認し、実践に活用できる。多文化共生の視点と踏まえた保育のあり方を理解できる。さらに、多文化共生の視点を積極的に取り入れ、保育の質を高める提案ができる。	専門知識を理解し、現場で適切に活用できる。子どもの発達や保育理論を確認し、実践に活用できる。多文化共生の視点と踏まえた保育のあり方を理解する。さらに、多文化共生の視点を積極的に取り入れ、保育の質を高める提案ができる。	専門知識を基本的に理解し、現場で一部活用できる。子どもの発達や保育理論を確認するが、実践への反映は限定的。多文化共生の視点は理解しているが、実践での活用は不十分である。	専門知識の理解が表面的で、現場での活用がほとんど見られない。子どもの発達や保育理論の確認はあるが、実践との関連が弱い。多文化共生の視点の理解が不十分である。	専門知識の理解や現場での活用がほとんど見られない。子どもの発達や保育理論の確認が不十分で、多文化共生の視点も欠如している。
思考力・判断力・表現力	実習で得た経験をもとに、教育・保育に関する課題を発見し、多角的に分析する力を養う。論理的な思考力と判断力を活かし、記録や報告で自分の考えを明確に表現できる能力を身につける。	実習経験を深く省察し、教育・保育に関する課題を的確かつ独自の視点で発見することができる。多角的な分析を行い、論理的な思考と判断に基づき明確な結論を示せる。記録・報告では根拠を明確にし、構成・表現が非常に優れている。	実習経験を踏まえ、課題を適切に発見し、複数の視点から分析できる。論理的な思考と判断を活かし、記録・報告で自分の考えを整理して明確に表現できる。	実習経験から課題を発見し、基本的な分析ができる。論理的な思考や判断はあるが、深さや多角性に欠ける。記録・報告は細かな明確だが、構成や根拠に不十分な点がある。	課題発見はあるが、分析が表面的で視点に限られる。論理的な思考や判断が見られず、記録・報告で自分の考えを明確に示せない。	課題発見や分析がほとんどできない。論理的な思考や判断が見られず、記録・報告で自分の考えを明確に示せない。

※「海外保育フィールド・スタディ」と「海外幼児教育インターンシップ」については、「演習科目」のルーブリックを参照

演習科目のルーブリック		AA	A	B	C	F
主体的に学ぼうとする力	演習を通じて、自ら課題を設定し、主体的に学び続ける力を養う。仲間との協働や指導教員との対話を通じて、知識を深め、自己成長に向けた学習を継続する姿勢を身につける。	演習で自ら課題を設定し、深く探究する。授業外でも積極的に情報収集や学習を行い、自己成長の計画を実践している。	演習で自ら課題を設定し、深く探究する。授業外でも積極的に情報収集や学習を行い、自己成長の計画を実践している。	演習や課題に取り組み、基本的な理解を示す。主体的な学びは一部見られるが、深まりや継続性に課題がある。	指示された範囲の学びにとどまり、追加学習や自己開発への意識が弱い。	学習意欲や主体性が低く、演習への取り組みが不十分である。
多様な理解及び実践的なコミュニケーション能力を踏まえた協同的に学び合う力	演習で多様な価値観を尊重し、仲間と協力して学び合う力を養う。グループ活動やディスカッションを通じて信頼関係を築き、国際的な視野と社会的モラルを身につける。	演習で多様な価値観を尊重し、仲間と積極的に協力・協同する。意見交換や相互理解を促進し、信頼関係を築くリーダーシップを発揮できる。	仲間と協力して課題に取り組み、多様性を尊重する姿勢がある。意見交換に積極的で、社会的モラルを理解し行動に反映している。	協力して課題に取り組むが、意見交換や多様性への配慮は限定的。信頼関係は保たれているが、主体的な働きかけは少ない。	協力はするが受動的で、交換がほとんどない。多様性やモラルへの理解が不十分である。	協力や協同の姿勢が見られず、仲間との関係構築ができない。
教育・保育及び多文化共生に関する知識・技能	演習を通じて、幼児教育・保育に関する専門知識を深めるとともに、国際的な教養と多文化共生の視点を身につける。幅広い情報を収集・整理し、学術的な探究を進める力を養う。	演習で幼児教育・保育に関する専門知識を深く理解し、多文化共生の視点を積極的に取り入れて考察できる。授業外でも自主的に学びを深めている。	専門知識を理解し、多文化共生への配慮を示す。必要に応じて追加資料を調べる姿勢がある。	演習に取り組み、基本的な知識を理解している。多文化共生の理解は限定的で、主体的な探究は一部にとどまる。	専門知識の理解が不十分で、教養や多文化共生への視点もほとんど見られない。	知識理解が欠け、課題への取り組みが不十分である。
思考力・判断力・表現力	演習で得た知識をもとに、教育・保育に関する課題を発見し、多角的に分析する力を養う。論理的な思考力と判断力を活かし、自分の考えを明確に表現できる能力を身につける。	演習で得た知識をもとに課題を見つめ、複数の視点から分析できる。考えを整理し、適切な言語でわかりやすく表現できる。	課題を見つめ、複数の視点から分析できる。考えを整理し、適切な言語でわかりやすく表現できる。	課題を把握し、基本的な分析ができる。表現はあるが、視点や深まりに課題がある。	課題の理解はあるが、分析が浅く、表現力や判断力に不足がある。	課題を見つめることができず、分析や表現が不十分である。

カリキュラムマップ

○教育保育学科

◎深い関連がある、○関連がある

科目群	科目	科目ナンバー	主体的に学ぼうとする力	協同的に学び合う力	知識・技能	思考力・判断力・表現力
教育に 関する 科目群 ・ 目的	教育原理	0H12S0001			◎	○
	保育原理	0H12S0002			◎	○
	子ども家庭福祉	0H12S0003			◎	○
	保育・教育・福祉の制度と理論Ⅰ	0H31S0001			◎	○
	保育・教育・福祉の制度と理論Ⅱ	0H32S0001	○	◎		
	社会福祉	0H11S0001			◎	○
	子ども家庭支援論	0H22S0001			◎	○
	社会的養護Ⅰ	0H21S0001			◎	○
	社会的養護Ⅱ	0H22S0002	○			◎
	保育者論	0H11S0002			◎	○
教育職論	0H21S0002			◎	○	
教育制度	0H41S0001			◎	○	
理解に 関する 科目群 の 対象	発達心理学	0H11S0101			◎	○
	子ども家庭支援の心理学	0H32S0101			◎	○
	子ども理解の理論と方法	0H21S0101			◎	○
	教育心理学	0H31S0101			◎	○
	特別支援基礎論	0H12S0101			◎	○
	保幼小連携基礎論	0H11S0102			◎	○
保幼小連携総論	0H41S0101	○			◎	
教育・保育学特講Ⅰ	0H32S0102			◎	○	
教育・保育学特講Ⅱ	0H41S0102	○			◎	
教育・ 保育の 内容・ 方法に 関する 科目群	教育課程論	0H22S0201			◎	○
	保育カリキュラム論	0H31S0201			◎	○
	保育内容総論	0H11S0201			◎	○
	保育内容指導法（健康）	0H32S0201	◎			○
	保育内容指導法（人間関係）	0H22S0202	◎			○
	保育内容指導法（環境）	0H12S0201	◎			○
	保育内容指導法（言葉）	0H12S0202	◎			○
	保育内容指導法（表現）	0H22S0203	◎			○
	国語科教育法	0H22S0204			○	◎
	社会科教育法	0H31S0202			○	◎
	算数科教育法	0H22S0205			○	◎
	理科教育法	0H31S0203			○	◎
	生活科教育法	0H22S0206			○	◎
	音楽科教育法	0H42S0201			○	◎
	図画工作科教育法	0H42S0202			○	◎
	家庭科教育法	0H42S0203			○	◎
	体育科教育法	0H31S0204			○	◎
	英語科教育法	0H42S0204			○	◎
	道徳教育の指導法	0H21S0201			○	◎
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	0H41S0201			○	◎
	生徒・進路指導論	0H42S0205			◎	○
	教育の方法	0H21S0202			◎	○
	ICT活用の理論と実践	0H21S0203			◎	○
	幼児と健康	0H31S0205			◎	○
	幼児と人間関係	0H21S0204			◎	○
	幼児と環境	0H11S0202			◎	○
	幼児と音楽	0H11S0203			◎	○
	幼児と表現	0H21S0205			◎	○
	国語	0H21S0206			◎	○
	社会	0H22S0207			◎	○
	算数	0H21S0207			◎	○
	理科	0H22S0208			◎	○
	生活	0H21S0208			◎	○
	音楽	0H41S0202			◎	○
	図画工作	0H41S0203			◎	○
	家庭	0H41S0204			◎	○
	体育	0H22S0209			◎	○
	英語	0H41S0205			◎	○
	幼児音楽ⅠA	0H11S0204	◎			○
	幼児音楽ⅠB	0H12S0203	◎			○
	幼児音楽Ⅱ	0H21S0209	◎			○
	幼児音楽Ⅲ	0H31S0206	◎			○
ピアノ/演習ⅠA	0H11S0205			◎	○	
ピアノ/演習ⅠB	0H12S0204			◎	○	
ピアノ/演習Ⅱ	0H22S0210			◎	○	
表現の探求（造形）	0H31S0207	○	◎			
表現の探求（音楽）	0H41S0206	○	◎			

教育・保育の内容・方法に関する科目群	幼児造形Ⅰ	OH11S0206	◎			○
	幼児造形Ⅱ	OH12S0205	◎			○
	幼児体育Ⅰ	OH11S0207	◎			○
	幼児体育Ⅱ	OH41S0207	◎			○
	ネイチャーワーク	OH31S0208	○	◎		
	児童文化	OH21S0210	○		◎	
	子どもの保健	OH31S0209			◎	
	子どもの健康と安全	OH32S0202	○			◎
	子どもの食と栄養Ⅰ	OH31S0210			◎	
	子どもの食と栄養Ⅱ	OH32S0203				◎
	障害児保育	OH31S0211	○		◎	
	乳児保育Ⅰ	OH22S0211			◎	
	乳児保育Ⅱ	OH31S0212	○			◎
	保育環境マネジメント	OH41S0208		◎		
	子ども学演習	OH31S0213	○		◎	
	教育相談A	OH42S0206			◎	
	教育相談B	OH42S0207			◎	
	子育て支援	OH41S0209	○			◎
	親と子どもの発達支援	OH32S0204	○	◎		
	チーム保育論	OH42S0208	○	◎		
	医療保育Ⅰ	OH32S0205			◎	
	医療保育Ⅱ	OH41S0210	◎			○
	インクルーシブ保育論	OH32S0206	○	◎		
多文化共生保育・教育論	OH32S0207			◎		
特別支援教育に関する科目群	特別支援教育論	OH21S0301			◎	○
	知的障害児の心理・生理・病理	OH31S0301			◎	○
	肢体不自由児の心理・生理・病理	OH31S0302			◎	○
	病弱児の心理・生理・病理	OH31S0303			◎	○
	知的障害教育論Ⅰ	OH32S0301			○	◎
	知的障害教育論Ⅱ	OH41S0301			○	◎
	肢体不自由教育論Ⅰ	OH32S0302			○	◎
	肢体不自由教育論Ⅱ	OH42S0301			○	◎
	病弱教育論	OH32S0303			○	◎
	視覚障害児の心理・生理・病理	OH31S0304			◎	○
	聴覚障害児の心理・生理・病理	OH42S0302			◎	○
	発達障害の理解	OH41S0302			◎	○
	視覚障害教育論	OH31S0305			○	◎
聴覚障害教育論	OH42S0303			○	◎	
重複障害等教育論	OH41S0303			○	◎	
体験学習科目群	教育実習Ⅰ	OH12S1001	◎			○
	教育実習Ⅱ	OH32S1001	◎			○
	教育実習Ⅲ	OH32S1002	◎			○
	教育実習Ⅳ	OH41S1001	◎			○
	教育実習指導Ⅰ	OH11S1001	◎			○
	教育実習指導Ⅱ	OH31S1001	◎			○
	教育実習指導Ⅲ	OH31S1002	◎			○
	教育実習指導Ⅳ	OH41S1002	◎			○
	教職実践演習(幼・小)	OH42S1001	○			◎
	保育実習Ⅰ(保育所)	OH31S1003	◎			○
	保育実習Ⅰ(施設)	OH22S1001	◎			○
	保育実習Ⅱ	OH41S1003	◎			○
	保育実習Ⅲ	OH41S1004	◎			○
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	OH31S1004	◎			○
	保育実習指導Ⅰ(施設)	OH21S1001	◎			○
	保育実習指導Ⅱ	OH41S1005	◎			○
	保育実習指導Ⅲ	OH41S1006	◎			○
保育実践演習	OH42S1002		○		◎	
学校インターンシップ指導	OH21S1002		◎		○	
学校インターンシップ	OH21S1003		◎		○	
海外幼児教育インターンシップ	OH12S1002		◎		○	
修・総合的な学習の科目群	総合演習ⅠA	OH21S2001	○	◎		
	総合演習ⅠB	OH22S2001	○	◎		
	総合演習ⅡA	OH31S2001	○	◎		
	総合演習ⅡB	OH32S2001	◎		○	
	卒業研究演習Ⅰ	OH41S2001	◎		○	
	卒業研究演習Ⅱ	OH42S2001	◎		○	
	卒業研究	OH42S2002	◎		○	

○国際教養こども学科

区分	授業科目	ナンバリングコード	1年		2年		3年		4年		主体的に学びとする力	多様な理解及び実践的なコミュニケーション能力を身に付けること	教育・保育及び多文化共生に関する知識・技能	思考力・判断力・表現力
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
こども教育科目	保育原理	OK11S0001	○										◎	○
	教育原理	OK12S0002		○									◎	○
	子ども発達概論	OK12S0003		○									◎	○
	社会概論	OK11S0004	○										◎	○
	子ども発達支援概論	OK22S0005			○								◎	○
	社会的養育Ⅰ	OK21S0006			○								◎	○
	社会的養育Ⅱ	OK22S0007			○						○		◎	○
	保育者論	OK12S0008		○									◎	○
	教育制度	OK41S0009							○				◎	○
	発達心理学	OK11S0010	○										◎	○
	子ども発達支援の心理学	OK22S0011			○								◎	○
	子ども発達支援の理論と実践	OK21S0012			○								◎	○
	教育心理学	OK42S0013							○				◎	○
	特別支援基礎論	OK21S0014		○									◎	○
	保育カリキュラム論	OK42S0015							○				◎	○
	保育内容総論	OK11S0016	○										◎	○
	保育内容指導法(健康)	OK22S0101										◎	◎	○
	保育内容指導法(人間関係)	OK22S0102				○						◎	◎	○
	保育内容指導法(身体)	OK12S0103			○							◎	◎	○
	保育内容指導法(言葉)	OK12S0104			○							◎	◎	○
	保育内容指導法(食生活)	OK22S0105										◎	◎	○
	教育の方法	OK21S0017			○								◎	○
	幼児と健康	OK21S0201			○								◎	○
	幼児と人間関係	OK21S0202			○								◎	○
	幼児と環境	OK11S0003	○										◎	○
	幼児と言葉	OK11S0004	○										◎	○
	幼児と食生活	OK21S0005			○								◎	○
	幼児音楽A	OK11S0006									◎		◎	○
	幼児音楽B	OK12S0007									◎		◎	○
	幼児音楽C	OK21S0011			○								◎	○
	幼児音楽D	OK22S0012				○							◎	○
	幼児運動A	OK11S0008	○								◎		◎	○
	幼児運動B	OK12S0009			○						◎		◎	○
	幼児運動C	OK11S0010	○								◎		◎	○
	幼児運動D	OK12S0011									◎		◎	○
	音楽文化	OK411S012								○			◎	○
	子どもの発達	OK21S0018			○								◎	○
	子どもの健康と安全	OK22S0019			○								◎	○
	子どもの発達と栄養	OK21S0020			○								◎	○
	幼児保育	OK22S0021										○	◎	○
	乳児保育Ⅰ	OK22S0022										○	◎	○
	乳児保育Ⅱ	OK41S0023								○			◎	○
	幼児保健	OK42S0024								○	○		◎	○
	子育て支援	OK41S0025								○	○		◎	○
	虐待の保育	OK42S0301								○	○		◎	○
多文化共生研究	OK11S1001	○								◎		◎	○	
地域研究-オーストラリア	OK22S1002				○							◎	○	
地域研究-日本	OK11S1003	○										◎	○	
English Skills for Study AbroadⅠ	OK12S1004			○						○		◎	○	
English Skills for Study AbroadⅡ	OK21S1005				○					○		◎	○	
Comparative Early Childhood Education	OK41S1006								○			◎	○	
Challenges in Multicultural Societies	OK42S1007									○		◎	○	
Communication SkillsⅠ	OK11S1004	○								○		◎	○	
Communication SkillsⅡ	OK11S1005	○								○		◎	○	
Teaching English for Children	OK42S1201									○		◎	○	
インクルーシブコミュニケーション	OK42S1202									○		◎	○	
Study Abroad Preparation	OK22S1301										○	◎	○	
Basic Communication in EnglishⅠ	OK11S1103			○								◎	○	
Basic Communication in EnglishⅡ	OK12S1104			○								◎	○	
Intermediate Communication in EnglishⅠ	OK21S1105			○								◎	○	
Intermediate Communication in EnglishⅡ	OK22S1106				○							◎	○	
海外語学研修	OK33S1302					○	○					◎	○	
海外保育実習	OK33S1303					○	○					◎	○	
国際性養育論	OK41S1304								○			◎	○	
国際性養育入門	OK12S0001		○									◎	○	
教育実習Ⅰ	OK22S2003				○							◎	○	
教育実習Ⅱ	OK41S2005								○			◎	○	
教育実習指導Ⅰ	OK21S2002			○								◎	○	
教育実習指導Ⅱ	OK41S2004								○			◎	○	
教職実践演習(幼)	OK42S2006								○	○		◎	○	
保育実践演習	OK41S2109								○			◎	○	
保育実践演習(保育所)	OK32S102										◎	◎	○	
保育実践演習Ⅰ(施設)	OK32S104										◎	◎	○	
保育実践演習Ⅱ	OK41S2106								○			◎	○	
保育実践演習Ⅲ	OK41S2108								○			◎	○	
保育実践演習Ⅳ(保育所)	OK32S2101			○								◎	○	
保育実践演習Ⅴ(施設)	OK32S2103								○			◎	○	
保育実践演習Ⅵ	OK41S2105								○			◎	○	
保育実践演習Ⅶ	OK41S2107								○			◎	○	
海外保育フィールド・スタディ	OK11S3201		○									◎	○	
海外保育実習(インクルーシブ)	OK11S3202		○									◎	○	
総合演習A	OK21S3001			○								◎	○	
総合演習B	OK22S3002			○								◎	○	
総合演習C	OK32S3003				○	○						◎	○	
卒業研究演習Ⅰ	OK41S3101								○			◎	○	
卒業研究演習Ⅱ	OK42S3102									○		◎	○	
卒業研究	OK42S3103									○		◎	○	

共通教育科目

教養科目(桜花学)で女性としての生き方を考え、基礎科目と併せて、学び続ける社会人としての基礎力を養う。

教養科目
(桜花学)

基礎科目

健康・スポーツ関係

数量的スキル・情報リテラシー関係

社会貢献・職業体験関係

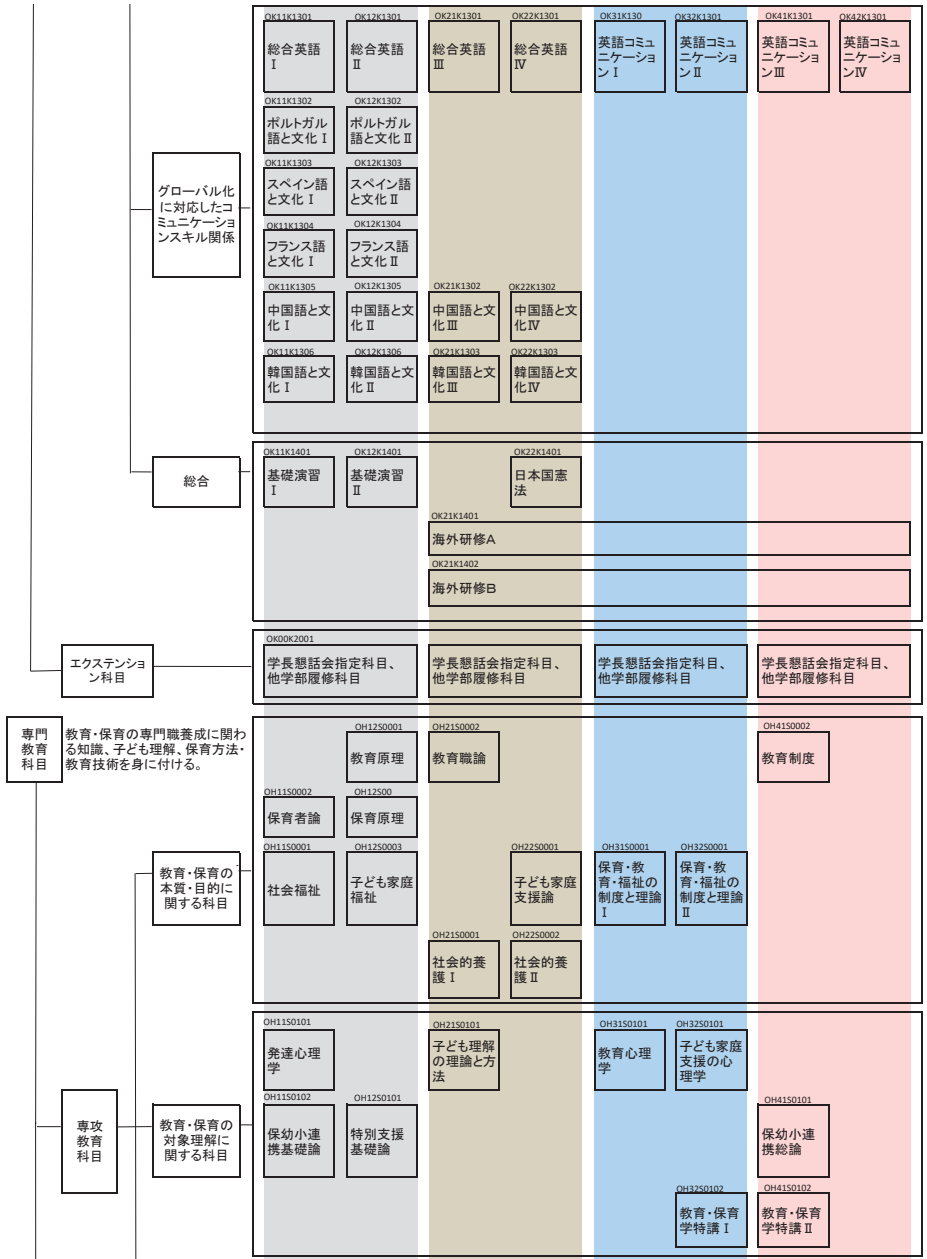
学士課程1年次
前期 後期

学士課程2年次
前期 後期

学士課程3年次
前期 後期

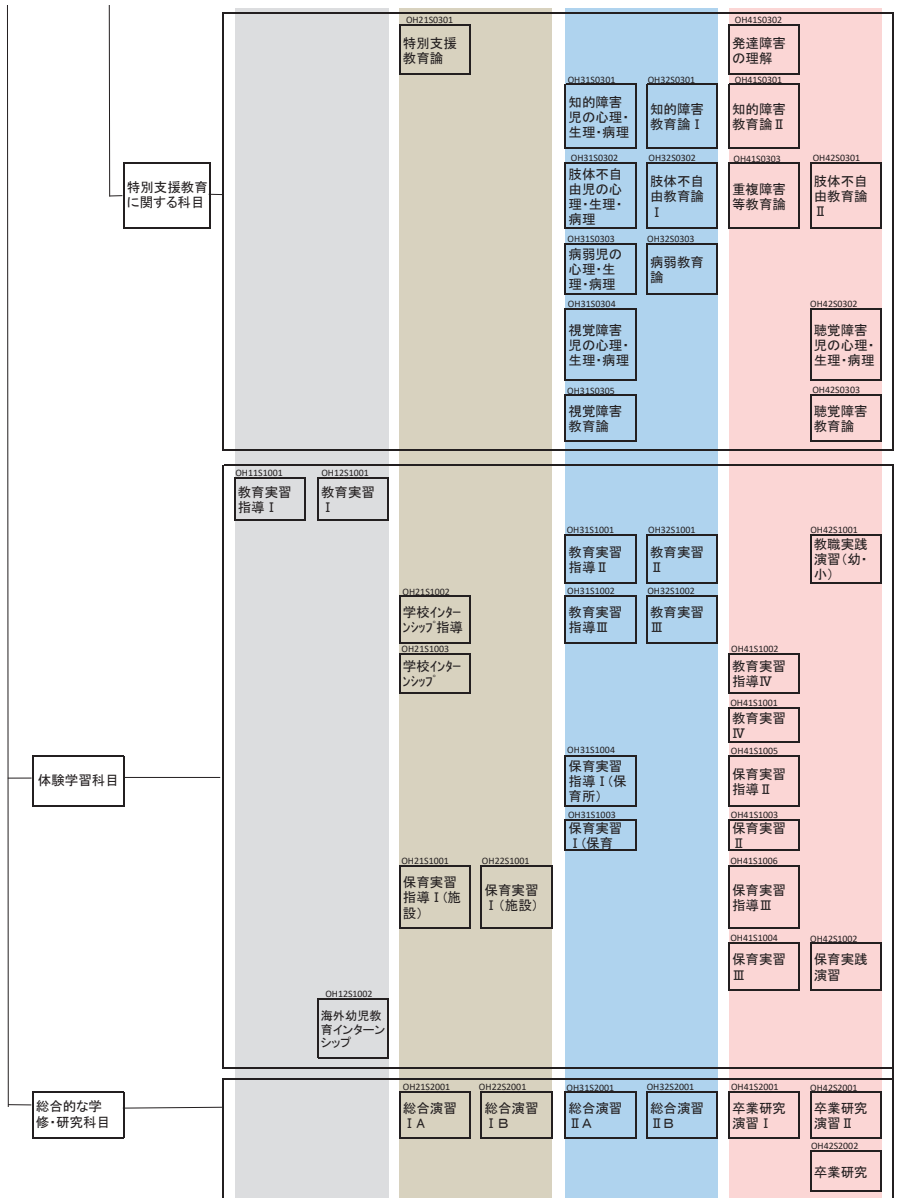
学士課程4年次
前期 後期

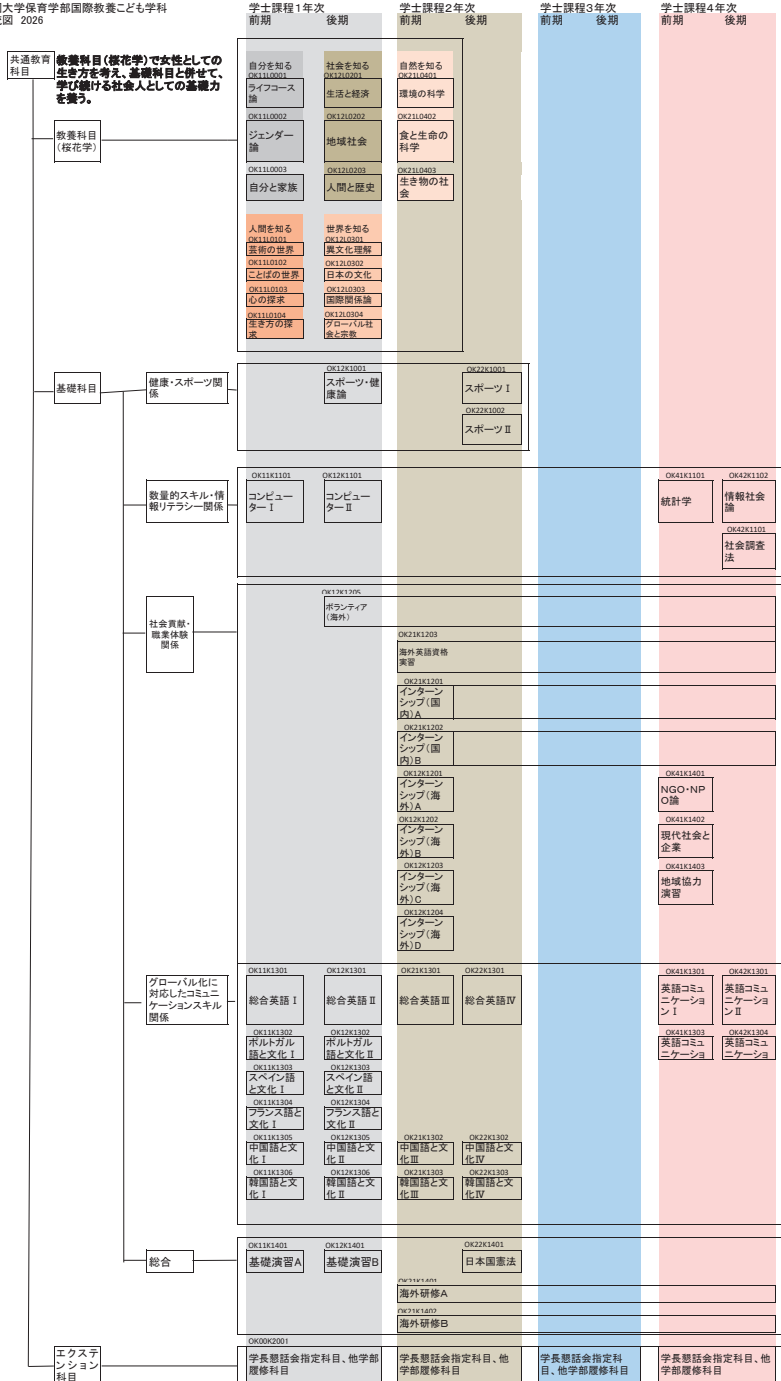
自分を知る OK110001 ライフコース論 OK110002 ジェンダー論 OK110003 自分と家族 OK110101 人間を知る OK110101 芸術の世界 OK110102 ことばの世界 OK110103 心の探求 OK110104 生き方の探求	社会を知る OK120201 生活と経済 OK120202 地域社会 OK120203 人間と歴史 OK120301 世界を知る OK120301 異文化理解 OK120302 日本の文化 OK120303 国際関係論 OK120304 グローバル社会と宗教	自然を知る OK210401 環境の科学 OK210402 食と生命の科学 OK210403 生き物の社会		
	OK12K1001 スポーツ健康論	OK22K1001 スポーツⅠ OK22K1002 スポーツⅡ		
OK11K1101 コンピュータⅠ	OK12K1101 コンピュータⅡ	OK22K1101 統計学 OK22K1102 社会調査法 OK22K1103 情報社会論		
	OK12K1205 ボランティア(海外)			
	OK21K1203 海外英語資格実習			
	OK21K1201 インターンシップ(国内)A			
	OK21K1202 インターンシップ(国内)B			
	OK12K1201 インターンシップ(海外)A	OK31K120 NGO・NPO論		
	OK12K1202 インターンシップ(海外)B	OK31K120 現代社会と企業		
	OK12K1203 インターンシップ(海外)C	OK31K120 地域協力演習		
	OK12K1204 インターンシップ(海外)D			

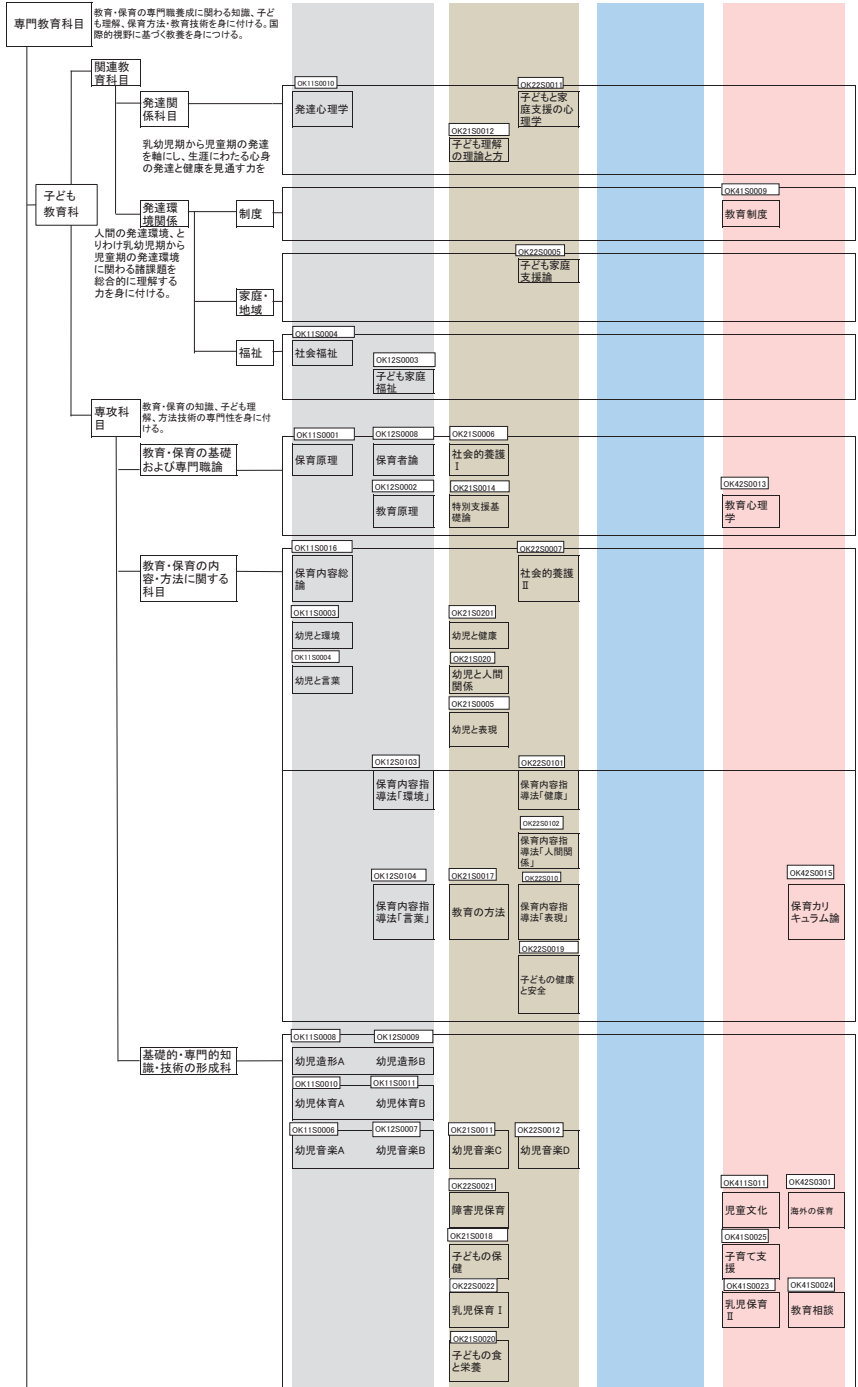


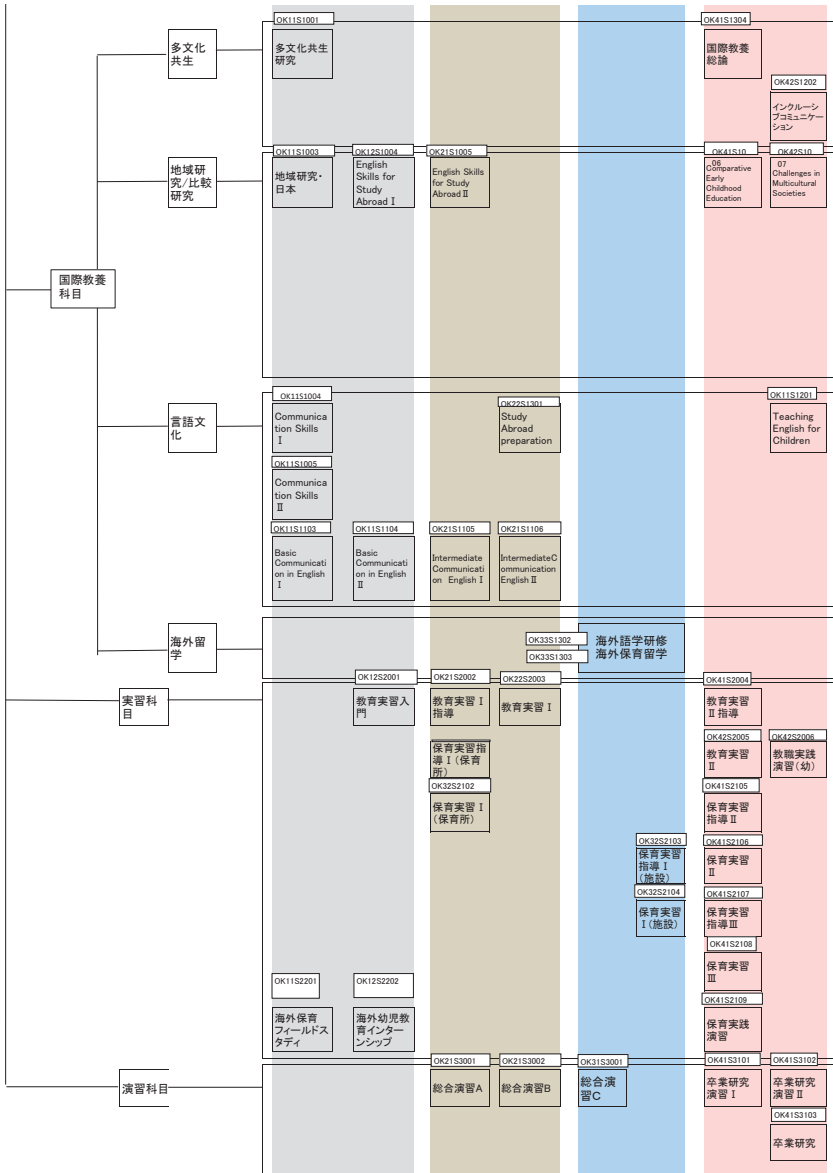
教育・保育の内容・方法に関する科目

OH1150201 保育内容 総論	OH2150202 教育の方法 教育課程 論	OH2250201 教育課程 論	OH3150201 保育カリキュ ラム論		
	OH2150203 ICT活用の 理論と実践				
OH1150203 幼児と言葉	OH1250202 保育内容指 導法(言葉)	OH2150206 国語	OH2250204 国語科教 育法		
OH1150202 幼児と環境	OH1250201 保育内容指 導法(環境)	OH2150204 幼児と人間 関係	OH2250202 保育内容指 導法(人間関 係)		
	OH2150208 生活	OH2250206 生活科教 育法			
		OH2250207 社会	OH3150202 社会科教 育法	OH3250207 多文化共 生保育・教 育論	OH4150205 英語
		OH2250208 理科	OH3150203 理科教育 法		OH425020 英語科教 育法
	OH2150207 算数	OH2250205 算数科教 育法			
	OH2150201 道徳教育 の指導法			OH4150201 特別活動・ 総合的な学 習の時間の 指導法	OH4250205 生徒・進路 指導論
OH1150204 幼児音楽 I A	OH1250203 幼児音楽 I B	OH2150209 幼児音楽 II	OH2250210 ピアノ演習 II	OH315020 幼児音楽 III	
OH1150205 ピアノ演習 I A	OH1250204 ピアノ演習 I B	OH2150205 幼児と表現	OH2250203 保育内容指 導法(表現)	OH3150207 表現の探 求(造形)	
OH1150206 幼児造形 I	OH1250205 幼児造形 II		OH2250209 体育	OH3250204 体育科教 育法	OH4150206 表現の探 求(音楽)
OH1150207 幼児体育 I		OH2150210 児童文化		OH3250208 ネイチャー ワーク	OH4150208 図画工作
				OH315020 幼児と健康	OH4250202 図画工作 科教育法
				OH315020 子どもの保 健	OH4150207 幼児体育 II
				OH3150210 子どもの食 と栄養 I	
				OH3250201 保育内容指 導法(健康)	
				OH3250202 子どもの健 康と安全	
				OH3150210 子どもの食 と栄養 II	OH4150204 家庭
		OH2250211 乳児保育 I	OH3150212 乳児保育 II	OH3250203 子どもの食 と栄養 II	OH4250203 家庭科教 育法
			OH3150213 子ども学演 習		
				OH3250204 親と子ども の発達支援	OH4150208 保育環境マ ネジメント
			OH3150211 障害児保育	OH3250205 医療保育 I	OH4150209 子育て支 援
				OH3250206 インクルー シブ保育論	OH4250206 教育相談A
					OH4250207 教育相談B
					OH4250208 チーム保 育論
					OH415021 医療保育 II









免許状・資格等の取得(教育保育学科)

I. 幼稚園教諭1種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する教育保育学部教育保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎資格
学士の学位を有すること。
2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツ I	1	
		スポーツ II	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語 I	1	2
		総合英語 II	1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	コンピュータ I	1	2
		コンピュータ II	1	

3. 専門教育科目での履修
 - a. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数	
区分	科目	科目	単位	単位	
専門的事項	健康	幼児と健康	1	5	
	人間関係		幼児と人間関係		1
	環境		幼児と環境		1
	言葉		幼児と言葉		1
	表現		幼児と表現		1
上記科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他上記科目に準ずる内容の科目					
報 機 器 及 び 教 材 の 指 導 法 の 活 用 情	保育内容総論	16	保育内容総論	2	2
	保育内容指導法（健康）		保育内容指導法（健康）	2	2
	保育内容指導法（人間関係）		保育内容指導法（人間関係）	2	2
	保育内容指導法（環境）		保育内容指導法（環境）	2	2
	保育内容指導法（言葉）		保育内容指導法（言葉）	2	2
	保育内容指導法（表現）		保育内容指導法（表現）	2	2

b. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育カリキュラム論	2	2
の道徳、相談法等及び総合的な学習の指導の科目、時間教育等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法	2	2
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	2	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談A	1	1
教育実践に関	教育実習	7	教育実習指導Ⅰ	1	6
			教育実習指導Ⅱ	1	
			教育実習Ⅰ	1	
			教育実習Ⅱ	3	
	学校体験活動				
	教職実践演習		教職実践演習（幼・小）	2	2

C. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
		科目	単位	単位
大学が独自に設定する科目	14	発達心理学	2	※1
		保幼小連携基礎論	1	
		保幼小連携総論	1	
		幼児音楽ⅠA	1	
		幼児音楽ⅠB	1	
		幼児音楽Ⅱ	1	
		幼児音楽Ⅲ	1	
		幼児体育Ⅰ	1	
		幼児造形Ⅰ	1	
		幼児造形Ⅱ	1	
		児童文化	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

II. 小学校教諭1種免許状の取得

本学で小学校教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する教育保育学部教育保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修するとともに、「介護等の体験」を行わなければなりません。

1. 基礎資格
学士の学位を有すること。
2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツⅠ	1	1
		スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	1	2
		総合英語Ⅱ	1	
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	コンピュータⅠ	1	2
		コンピュータⅡ	1	

*幼稚園教諭1種免許状と共通ですので、重複して履修する必要はありません。

3. 専門教育科目での履修
 - a. 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数	
区分	科目	単位	科目	単位	
教科に関する専門的事項	国語（書写含む。）	30	国語	1	10
	社会		社会	1	
	算数		算数	1	
	理科		理科	1	
	生活		生活	1	
	音楽		音楽	1	
	図画工作		図画工作	1	
	家庭		家庭	1	
	体育		体育	1	
	外国語		英語	1	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法（含む） （情報通信技術の活用を）	国語科教育法	30	国語科教育法	2	2
	社会科教育法		社会科教育法	2	2
	算数科教育法		算数科教育法	2	2
	理科教育法		理科教育法	2	2
	生活科教育法		生活科教育法	2	2
	音楽科教育法		音楽科教育法	2	2
	図画工作科教育法		図画工作科教育法	2	2
	家庭科教育法		家庭科教育法	2	2
	体育科教育法		体育科教育法	2	2
	英語科教育法		英語科教育法	2	2

b. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教育職論	2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	2
	道徳		道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の指導法
徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目及び生徒	総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2		2
	特別活動の指導法	教育の方法	2		2
	教育の方法及び技術	ICT活用の理論と実践	1		1
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		2
	生徒指導の理論及び方法	教育相談A	1		1
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談B	1		1
教育に関する実践科目	教育実習	7	教育実習指導Ⅲ	1	6
	学校体験活動		教育実習Ⅲ	3	
			学校インターンシップ指導	1	
			学校インターンシップ	1	
教職実践演習	教職実践演習（幼・小）	2	2		

*幼稚園教諭1種免許状との共通科目は、重複して履修する必要はありません。

c. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
		科目	単位	単位
大学が独自に設定する科目	2	発達心理学	2	※1
		保幼小連携基礎論	1	
		保幼小連携総論	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得

Ⅲ. 特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の取得

本学で特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の取得をする場合、小学校教諭1種免許状または幼稚園教諭1種免許状(※1)、いずれかの基礎免許を取得見込みであり、以下の指定する教育保育学部教育保育学科の専門教育科目を履修しなければなりません。

※1 幼稚園教諭1種免許状を基礎免許とする場合、以下の指定する教育保育学部教育保育学科の専門教育科目に加え、「国語」「算数」「生活」「国語科教育法」「算数科教育法」「生活科教育法」を履修すること。

1. 特別支援教育に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数	
区分	科目	単位	科目	単位	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	特別支援教育論	2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	知的障害児の心理・生理・病理	2	16
			肢体不自由児の心理・生理・病理	2	
			病弱児の心理・生理・病理	2	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		知的障害教育論Ⅰ	2	
			知的障害教育論Ⅱ	2	
			肢体不自由教育論Ⅰ	2	
			肢体不自由教育論Ⅱ	2	
病弱教育論	2				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目					
る免許特別状域支に定援定め教育らる領域この外と領な	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5	視覚障害児の心理・生理・病理	1	6
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		聴覚障害児の心理・生理・病理	1	
			視覚障害教育論	1	
			聴覚障害教育論	1	
			発達障害の理解	1	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目			重複障害等教育論	1	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	教育実習指導Ⅳ	1	3
			教育実習Ⅳ	2	

IV. 保育士資格の取得

本学で保育士資格を取得する場合、児童福祉法施行規則（保育士養成所指定基準）に定める次の要件を充たすよう基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎教育科目での履修

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	ライフコース論	2	2以上
			ジェンダー論	2	
			自分と家族	2	
			コンピュータⅠ	1	4
			コンピュータⅡ	1	
			基礎演習Ⅰ	1	
	基礎演習Ⅱ	1			
	外国語	2以上	総合英語Ⅰ	1	2以上
			総合英語Ⅱ	1	
	体育（講義）	1	スポーツ健康論	2	2
体育（実技）	1	スポーツⅠ	1	1以上	
		スポーツⅡ	1		

2. 専門教育科目での履修

a. 告示別表第1による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
的保育に関する科目	保育原理	2	保育原理	2	2
	教育原理	2	教育原理	2	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	2
	社会福祉	2	社会福祉	2	2
	子ども家庭支援論	1	子ども家庭支援論	2	2
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	2	2
	保育者論	2	保育者論	2	2
関象する理解に	保育の心理学	2	発達心理学	2	2
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2
	子どもの理解と援助	1	子ども理解の理論と方法	2	2
	子どもの保健	2	子どもの保健	2	2
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養Ⅰ	2	2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育カリキュラム論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	2
			保育内容指導法（健康）	1	1
	保育内容演習	5	保育内容指導法（人間関係）	1	1
			保育内容指導法（環境）	1	1
			保育内容指導法（言葉）	1	1
			保育内容指導法（表現）	1	1
			保育内容指導法（表現）	1	1
	保育内容の理解と方法	4	幼児と健康	1	1
			幼児と人間関係	1	1
			幼児と環境	1	1
			幼児と言葉	1	1
			幼児と表現	1	1
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	2
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	1
子ども健康と安全	1	子ども健康と安全	1	1	
障害児保育	2	障害児保育	2	2	
社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	1	
子育て支援	1	子育て支援	1	1	

保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所）	2	2
			保育実習Ⅰ（施設）	2	2
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	1
			保育実習指導Ⅰ（施設）	1	1
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2	2

b. 告示別表第2による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件		大学の授業科目と単位数		
系 列	単位	教 科 目	単位	単位
保育の本質・目的に関する科目	15以上	教育制度	2	9以上
保育の対象の理解に関する科目		教育心理学	2	
		特別支援基礎論	1	
		保幼小連携基礎論	1	
		保幼小連携総論	1	
保育の内容・方法に関する科目		保育内容指導法（健康）	1	
		保育内容指導法（人間関係）	1	
		保育内容指導法（環境）	1	
		保育内容指導法（言葉）	1	
		保育内容指導法（表現）	1	
		幼児音楽ⅠA	1	
		幼児音楽ⅠB	1	
		幼児音楽Ⅱ	1	
		幼児音楽Ⅲ	1	
		幼児造形Ⅰ	1	
		幼児造形Ⅱ	1	
		幼児体育Ⅰ	1	
		児童文化	1	
	子どもの食と栄養Ⅱ	1		
保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2	
		保育実習Ⅲ		
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1	
		保育実習指導Ⅲ		

注意事項

幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状、特別支援学校教諭1種免許状、保育士資格を取得するためには、各免許状、資格が定める所定の科目（上記Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．Ⅳを確認のこと）を履修し、単位の認定を受けなければなりません。

本学では、実習に関する科目の履修資格、単位の認定等について、「桜花学園大学教育保育学部 教職課程及び指定保育士養成施設の指定および運営の基準に定める教育課程の履修に関する細則（以下「細則」という）を定めています（『履修の手引き』の末尾に掲載）。

実習は、学外で行う体験学習科目です。学生のみなさんは、『履修の手引き』、「シラバス」及び上記「細則」をよく読んで、実習に関する科目を履修してください。

V. 幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状の取得

教育保育学部を卒業後、本学大学院人間文化研究科人間科学専攻に進学し修士の学位を取得し、取得を希望する免許課程の科目を履修し、所定の単位を修得した場合、幼稚園教諭専修免許状および小学校教諭専修免許状を取得することが出来ます。

1. 基礎資格 修士の学位を取得すること。
2. 基礎要件 幼稚園教諭1種免許または小学校教諭1種免許を取得していること。
3. 取得を希望する免許課程における履修すべき科目と修得を必要とする最低単位数
教科又は教職に関する科目 24単位以上。

免許状・資格等の取得(国際教養こども学科)

I. 幼稚園教諭1種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する教育保育学部国際教養こども学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎資格
学士の学位を有すること。
2. 基礎教育科目での履修（教育職員免許法施行規則に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツⅠ	1	1
		スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	1	2
		総合英語Ⅱ	1	
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	コンピュータⅠ	1	2
		コンピュータⅡ	1	

3. 専門教育科目での履修
 - a. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
領域に 関する 専門的 事項	健康	16	幼児と健康	1	5
	人間関係		幼児と人間関係	1	
	環境		幼児と環境	1	
	言葉		幼児と言葉	1	
	表現		幼児と表現	1	
上記科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他上記科目に準ずる内容の科目					
報 機 器 内 容 及 び 教 材 の 活 用 情 報	保育内容総論	16	保育内容総論	2	2
	保育内容指導法（健康）		保育内容指導法（健康）	2	2
	保育内容指導法（人間関係）		保育内容指導法（人間関係）	2	2
	保育内容指導法（環境）		保育内容指導法（環境）	2	2
	保育内容指導法（言葉）		保育内容指導法（言葉）	2	2
	保育内容指導法（表現）		保育内容指導法（表現）	2	2

b. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育カリキュラム論	2	2
の道徳、相談法等に関する指導、時間等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法	2	2
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	2	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	1	1
教育実践に関する科目	教育実習 学校体験活動 教職実践演習	7	教育実習指導Ⅰ	1	6
			教育実習指導Ⅱ	1	
			教育実習Ⅰ	2	
			教育実習Ⅱ	2	
			教職実践演習（幼）	2	2

C. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な単位
		科目	単位	
大学が独自に設定する科目	14	発達心理学	2	※1
		教育実習入門	1	
		児童文化	2	
		多文化共生研究	2	
		幼児音楽A	1	
		幼児音楽B	1	
		幼児造形A	1	
		幼児造形B	1	
		幼児体育A	1	
		幼児体育B	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

II. 保育士資格の取得

本学で保育士資格を取得する場合、児童福祉法施行規則（指定保育士養成施設指定基準）に定める次の要件を充たすよう基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎教育科目での履修

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
教養科目	外国語、体育以外の科目	6以上	ライフコース論	2	2以上
			ジェンダー論	2	
			自分と家族	2	
			コンピュータⅠ	1	4
			コンピュータⅡ	1	
			基礎演習Ⅰ	1	
	外国語	2以上	総合英語Ⅰ	1	2以上
			総合英語Ⅱ	1	
	体育（講義）	1	スポーツ健康論	2	2
	体育（実技）	1	スポーツⅠ	1	1以上
スポーツⅡ			1		

2. 専門教育科目での履修

a. 告示別表第1による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
的保に育関のす本質・科目目	保育原理	2	保育原理	2	2
	教育原理	2	教育原理	2	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	2
	社会福祉	2	社会福祉	2	2
	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	2
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	2	2
	保育者論	2	保育者論	2	2
関象のす理解科目に	保育の心理学	2	発達心理学	2	2
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2
	子どもの理解と援助	1	子ども理解の理論と方法	2	2
	子どもの保健	2	子どもの保健	2	2
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育カリキュラム論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	2
	保育内容演習	5	保育内容指導法（健康）	1	1
			保育内容指導法（人間関係）	1	1
			保育内容指導法（環境）	1	1
			保育内容指導法（言葉）	1	1
			保育内容指導法（表現）	1	1
	保育内容の理解と方法	4	幼児と健康	1	1
			幼児と人間関係	1	1
			幼児と環境	1	1
			幼児と言葉	1	1
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	2
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	1
	子ども健康と安全	1	子どもの健康と安全	1	1
	障害児保育	2	障害児保育	2	2
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	1
	子育て支援	1	子育て支援	1	1
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所）	2	2
			保育実習Ⅰ（施設）	2	2
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	1
			保育実習指導Ⅰ（施設）	1	1
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2	2

b. 告示別表第2による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な単位数
系 列	単 位	教 科 目	単 位	単 位
保育の本質・目的に関する科目		教育制度	2	9以上
		教育心理学	2	
保育の対象の理解に関する科目	15以上	海外の保育	2	
		特別支援基礎論	1	
		保育内容指導法（健康）	1	
		保育内容指導法（人間関係）	1	
保育の内容・方法に関する科目	15以上	保育内容指導法（環境）	1	
		保育内容指導法（言葉）	1	
		保育内容指導法（表現）	1	
		幼児音楽A	1	
		幼児音楽B	1	
		幼児造形A	1	
		幼児造形B	1	
		幼児体育A	1	
		幼児体育B	1	
		児童文化	2	
保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2	
		保育実習Ⅲ		
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1	
		保育実習指導Ⅲ		

注意事項

幼稚園教諭1種免許状、保育士資格を取得するためには、各免許状、資格が定める所定の科目（上記Ⅰ、Ⅱを確認のこと）を履修し、単位の認定を受けなければなりません。
 本学では、実習に関する科目の履修資格、単位の認定等について、「桜花学園大学教育保育学部 教職課程及び指定保育士養成施設の指定および運営の基準に定める教育課程の履修に関する細則（以下「細則」という）を定めています（『履修の手引き』の末尾に掲載）。
 実習は、学外で行う体験学習科目です。学生のみなさんは、『履修の手引き』、「教育保育学部シラバス」及び上記「細則」をよく読んで、実習に関する科目を履修してください。

Ⅲ. 幼稚園教諭専修免許状

教育保育学部を卒業後、本学大学院人間文化研究科人間科学専攻に進学し修士の学位を取得し、取得を希望する免許課程の科目を履修し、所定の単位を修得した場合、幼稚園教諭専修免許状を取得することが出来ます。

1. 基礎資格 修士の学位を取得すること。
2. 基礎要件 幼稚園教諭1種免許を取得していること。
3. 取得を希望する免許課程における履修すべき科目と修得を必要とする最低単位数
 教科又は教職に関する科目 24単位以上。